

令和 3 年度全学教育科目
学生による授業アンケート報告書【集計結果分析編】
(令和 3 年度第 1 学期及び第 2 学期)

1. 令和 3 年度のアンケートについて
2. アンケートの実施方法
3. 各教員あて通知内容
4. アンケート用紙の様式
5. 調査対象の解析
6. アンケート結果と解析
7. 総合評点の度数分布
8. 分析のための全体集計

1. 令和3年度授業アンケートについて

本学は、授業内容や教育方法の改善の組織的活動の一環として、平成11年度より毎年学生による「授業アンケート」を全学的に実施し、その結果を公開している。平成15年度までは冊子体の報告書（年次報告書に掲載）を刊行した。平成16年度からホームページ上でのみ公開している。平成18年度第2学期から、一部設問を変更し16の設問によるアンケートが用いられている^(注1)。平成24年度には、授業アンケートの実施方法等を見直し、全学教育科目については高等教育推進機構で、学部専門科目については各学部において、それぞれの特性を考慮した独自の授業アンケートを実施している。さらに平成25年度からは、無作為に抽出された一部の科目に対し、「汎用的能力」に関する追加設問を試験的に依頼してきたが、平成29年度の調査からは教養科目（コアカリキュラム）を担当する全教員に依頼している。平成30年度第1学期には20科目でスマホ（あるいはPC）によるアンケート（以下 Web アンケートと表す）を試行し、第2学期には全科目で Web アンケートを実施した。令和3年度も継続して全科目で Web アンケートを実施した。

本報告は、高等教育推進機構で令和3年度第1学期と第2学期に実施された全学教育科目における「授業アンケート」の結果をまとめたものである。ただし、教員の指示の有無に関わらず入力できるように設定したため、教員がアンケート実施を意図しない場合も入力が可能となっている。そのため、令和元年第1学期以降のアンケート調査では、教員からのアンケート記入指示の有無をたずねる設問を設定して判別できるようにした。令和3年度は、授業担当教員からアンケートを実施しない旨連絡があった授業を除いたうえで、受講学生数の20%以上の入力があった場合のみを集計の対象とした。

両学期を合わせたアンケート実施総授業数は729（非常勤講師を含む）であり、延べ15,587名の学生から回答を得た。アンケート結果は授業担当者だけではなく、部局長にもフィードバックし、教育効果の検証を組織的に行い、授業改善のための資料となっている。また、平成26年度実施分から、授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について、各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学ホームページ（学内限定）に公表している。

1.1 回答結果の概要

以下に、令和3年度調査結果の概要を示す。

■調査実施概要

各教員に、令和3年度に担当している授業科目のうち、適切な一つ以上の科目を選択し、調査を実施するよう依頼した。令和3年度第1学期および第2学期は、非常勤講師を含む担当教員687名中449名が調査を実施し、実施率は65.36%（括弧内は同令和2年度、令和

元年度，平成 30 年度，平成 29 年度の調査結果を順に記載：78.29%，80.92%，81.03%，82.51%）であった。本学教員の実施率は 67.02%（79.10%，82.18%，82.46%，82.20%），非常勤講師の実施率は 57.02%（74.34%，74.56%，73.15%，84.62%）である。本学教員の実施率は，前年度から遡って過去 4 年間は 80%前後を推移していたが，前年度に比べ大幅に減少している。非常勤講師の実施率についても，過去 4 年間に 70%を下回ることはなかったが，前年度に比べ大幅に減少している。非常勤講師数については，減少する傾向にある。平成 24 年度の 150 名が，令和 3 年度は 114 名であった。全学教育については，徐々に本学の教員のみで担当するようになってきていることがわかる。アンケートを実施した授業総数は 729（830，820，806，812）で，担当教員あたりの延べ回収率は 106.11%（124.25%，116.09%，114.98%，117.34%）であった。非常勤講師の担当教員あたりの延べ回収率は，前年度 133.63%に対して，今回は 100.00%であり，実施率は前年度 74.34%に対して今回は 57.02%となった。アンケートを実施する非常勤講師の割合は大幅に減少している。

■総合評価評定平均値

総合評価は平成 23 年度まで，学生の行動に関する設問 11～13（出席率，授業への積極的な参加，自習時間）を除いた設問 1～10，設問 14～16 までの評定値の平均を指標としていたが，設問 3（授業で要求される作業量）と 4（授業の難易度）は，1.3 節で後述するように，授業の質の直接的な評価とはならないので，平成 24 年度から除外している。また，設問 14（シラバスの達成目標の達成度）も平成 24 年度より 5 段階評価から達成割合を定量的に回答するよう変更したので除外している。結果として，総合評価は，設問 1～2，5～10，15～16 の 5 段階評価平均値を指標としている。今回令和 3 年度の総合評価全体平均は 4.09 であった。平成 28 年度以降，今回の調査までの 6 年間の全体平均値は，3.95，4.12，4.11，4.02，4.01，4.09 と推移し，今回の平均値は前年度に比べ 0.8 ポイント増加した。

■科目別評定平均値

科目別の平均値は，高い順に演習科目（4.37 [前年度：4.29]），選択科目（4.24 [4.15]），外国語科目（4.20 [4.11]），講義科目（4.03 [3.96]），必修科目（3.95 [3.88]）となっている。前年と同じ順番であるが，すべての科目区分において，平均点は増加している。講義科目と必修科目の平均点が低くなる原因は，比較的クラスサイズが大きい授業であり，必修科目には難易度の高い数学・物理などの理系基礎科目が含まれているためと考えられる。

■肯定的回答の経年変化と科目別回答傾向

各設問の回答選択肢の上位 2 項目（「強くそう思う」と「そう思う」）を合わせた回答比率（項目番号 4，11，13，14 については，表中の説明どおりの集計結果）を表 1 に示した。今回の結果に加えて，「全体」についてはそれ以前の 4 年分の結果も示した。また表の右端には，各設問の「全体」の経年変化を模式的に示した（表の並びと同じく右から左へ平成 29

年度から令和3年度を示す)。昨年度から大きく変化した項目があることがわかる。

カテゴリー『授業について』は、微減した「授業の難易度を『C:適切』と回答した学生の割合」を除き、すべての項目で肯定的回答の割合が増加している。問1～問3については、平成29年度から令和3年度までの5年間、一貫して増加傾向にある。『授業方法、教員の行動について』についても、全体的に増加していることがわかる。特に、「黒板、教科書、プリントやAV機器等の効果的利用」は3.9ポイント増加しており、他のカテゴリーも含めた全項目の中で最も増加の幅が大きかった。その一方で、『学生の行動について』は、全項目で減少しており、「授業一回あたりの学習時間(3時間以上)」については、5.7ポイント減少している。『教育効果について』は、「私はシラバスの到達目標を達成できた(8割以上)」のみ減少しており、「授業は全体として満足できるものだった」と「知的に刺激され、深く勉強したくなった」については、平成29年度から令和3年度までの5年間、一貫して増加傾向にある。今回の結果の全体的な特徴は、多くの項目で肯定的回答の割合の増加がみられ、そのうち5項目については5年間一貫して増加傾向にある一方で、『学生の行動』はカテゴリー内の全項目で肯定的回答の割合が前年度から減少している点にある。

科目別に比較すると、授業全体の満足度(設問16)の高い科目は演習科目(93.9%)や選択科目(91.7%)、満足度の低い科目は講義科目(82.7%)や必修科目(78.5%)であり、例年と同様の傾向である。演習科目と講義科目における授業方法と教員の行動に関する設問では、6項目中4項目において10ポイント以上の差をつけて演習科目の方が高くなっている。それらの内アクティブ・ラーニングの要素のひとつである「教員は効果的に学生参加を促した」については、27.3ポイントの差がある。講義科目や必修科目については、アクティブ・ラーニングのような双方向の授業に向かない科目もあると考えられ、これらの差を縮めることが正しいとは一概にはいえない。しかし、学生の行動の数値にも差が表れており、「自分はこの授業に積極的に参加した」の肯定的回答の割合も演習科目と講義科目の間に20.7ポイントの差がある。演習科目の要素の一部を講義科目に導入するなど授業方法に小さな工夫を加えることにより、学生が授業へより積極的に臨むことができるようになる可能性を表した結果であると考えられる。

全体的に肯定的回答の割合が増加しているものの、それぞれの設問の回答割合の高低の傾向は例年と同様であり、『教育効果』に関して、「私はシラバスの到達目標を達成できた(8割以上)」が全体で58.1%となっている。比較的満足度の高い演習科目は71.4%となっており、授業に積極的に臨み、達成度も高いことがわかる。「知的に刺激され、深く勉強したくなった」は全体で74.6%、演習科目で87.9%となっている。他の専門分野や文化に触れる機会をもち、異なった価値観があることを理解すると同時に、多様な発想と感性を磨くことによって、豊かな創造力が生み出されることが期待される全学教育においては、この数値の向上が望まれるところであるが、平成29年度から令和3年度までの5年間、一貫して増加傾向にある。

表1 授業タイプ別「強くそう思う」と「そう思う」を選んだ学生の比率 (%)

カテゴリ	項目番号	内容	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目	外国語	全体 (R3)	全体 (R2)	全体 (R1)	全体 (H30)	全体 (H29)	
授業について	1	目標、内容、評価方法を明かに示した	92.4	95.9	90.9	95.3	93.9	92.9	90.5	87.8	86.1	84.0	■■■■
	2	授業はシラバスにそって行われた	92.6	94.5	91.8	94.3	92.5	92.9	90.7	88.3	86.5	83.9	■■■■
	3	レポート等の作業量は適切だった	84.8	89.5	81.9	89.9	85.5	85.6	83.2	83.2	81.2	77.6	■■■■
	4	授業の難易度を「C適切」と回答した学生の割合	60.1	69.3	54.1	70.3	66.1	61.6	62.1	58.6	55.7	53.8	■■■■
授業方法、教員の行動	5	教員の説明はわかりやすかった	76.5	90.3	72.0	86.7	85.2	78.8	75.7	74.2	75.9	74.4	■■■■
	6	教員の熱意が伝わってきた	79.5	93.6	73.9	91.0	86.4	81.8	79.9	81.1	81.3	78.8	■■■■
	7	教員の話し方は聞き取りやすかった	81.9	91.4	78.4	89.4	87.6	83.5	80.9	78.5	79.0	77.7	■■■■
	8	教員は効果的に学生参加を促した	64.4	91.7	63.2	75.8	85.0	69.0	65.4	65.2	66.4	65.1	■■■■
	9	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した	80.1	93.3	78.5	86.7	87.3	82.3	79.2	77.6	79.0	79.1	■■■■
	10	黒板、教科書、プリントやAV機器等の効果的利用	82.8	89.1	80.6	87.5	85.8	83.8	79.9	81.7	80.9	79.3	■■■■
	11	この授業の出席率(80%と100%の合計)	97.1	99.3	96.7	98.4	95.2	97.5	98.0	96.7	94.8	92.9	■■■■
学生の行動	12	自分はこの授業に積極的に参加した	63.0	83.7	61.7	71.9	75.1	66.4	66.8	62.4	59.4	57.0	■■■■
	13	授業一回あたりの学習時間(3時間以上)	10.1	12.1	12.6	7.9	9.2	10.4	16.2	7.9	12.7	15.3	■■■■
教育効果	14	私はシラバスの到達目標を達成できた(8割以上)	55.5	71.4	51.4	65.9	59.2	58.1	59.1	54.9	49.9	49.2	■■■■
	15	知的に刺激され、深く勉強したくなった	72.0	87.9	66.1	84.7	76.8	74.6	74.4	70.5	69.1	68.2	■■■■
	16	授業は全体として満足できるものだった	82.7	93.9	78.5	91.7	87.1	84.6	82.5	79.2	78.4	75.9	■■■■
回答人数(人)			13,027	2,560	8,414	7,173	3,732	15,587	17,932	25,574	26,704	29,746	

※項目 4, 11, 13, 14については、それぞれの内容にあるとおりの集計を行っている。

■授業1回あたりの授業外学修時間

授業1回あたりに費やした授業外学修時間(設問13)は、「30分以下」が27.24%(括弧内は令和2年度、令和元年度、平成30年度、平成29年度の調査結果を順に記載:21.73%, 45.91%, 39.9%, 37.5%),「1時間」が40.56%(36.80%, 32.59%, 30.8%, 28.3%),「2時間」が21.77%(25.31%, 13.64%, 16.6%, 18.9%),「3時間」が6.95%(10.95%, 4.79%, 6.7%, 8.3%),「4時間以上」が3.48%(5.21%, 3.08%, 6.0%, 7.1%)で、前年度の調査と比較すると、「30分以下」と「1時間」が増加し、「2時間」、「3時間」、「4時間以上」が減少している。授業外学修時間の平均(注2)は、1.23時間(1.64時間, 0.98時間, 1.18時間, 1.28時間)であり、平成30年度以降減少傾向にあったのが令和2年度に大幅に増加したが、今回は平成29・30年度の水準あたりまで減少している。令和2年度に大幅に増加したのは、コロナ禍により自宅学習時間が増加したことが関係していると考えられる。一方、令和元年度の大きな減少の理由は不明である。大学IRコンソーシアムの結果も減少しており、設問の不具合等の理由ではない。大きな変化は紙ベースからWebベースへの移行であるが、さらなる分析が必要である。

平成29年度以降の必修/選択科目別とクラスサイズ別の授業外学修時間を表2に示した。令和3年度は、必修科目は1.40時間、選択科目は1.09時間となっている。前年比で、両者とも減少しており、それぞれ16.2分、9分の減少であった。必修科目と選択科目の差は18.6分であり、前年の25.8分から若干差が縮まった。クラスサイズ別では、25人以下のクラスで1.34時間、26人から50人で1.21時間、51人から100人で1.32時間、101人から200人で1.19時間、201人以上で1.02時間であった。表2の下端に、各分類における授業外学修時間の経年変化を模式的に示している(左から右へ平成29年度から令和3年度を示す)。令和元年度にすべての分類で過去にない減少がみられたが、令和2年度はそれとは逆にすべての分類において大幅な増加がみられた。今回は平成30年度以前の水準に戻

るかたちとなっている。

表 2 必修／選択別，クラスサイズ別授業外学修時間（単位：時間）

年度	必修／選択別		クラスサイズ				
	必修	選択	25人以下	26～50人	51～100人	101～200人	201人以上
平成29年度	1.43	1.13	1.36	1.34	1.31	1.28	0.98
平成30年度	1.43	1.02	1.26	1.20	1.21	1.19	0.94
令和元年度	1.15	0.86	1.14	1.08	0.97	0.99	0.67
令和2年度	1.67	1.24	1.48	1.51	1.63	1.31	1.05
令和3年度	1.40	1.09	1.34	1.21	1.32	1.19	1.02

授業形態^(注3)別の授業外学修時間を表 3 に示した。演習の授業外学修時間が最も長く、講義，外国語の順に短くなっている。

表 3 の下端には，各授業形態における授業外学修時間の経年変化を模式的に示した（左から右へ平成 29 年度から令和 3 年度を示す）。どの授業形態においても，令和元年度の減少からの令和 2 年度の大幅な増加が目立つ結果となっており，今回は令和 2 年度に比べて全体的に減少している。

表 3 授業形態による授業外学修時間（単位：時間）

科目区分 授業形態	全学教育科目		
	講義	演習	外国語
平成29年度	1.25	1.46	1.41
平成30年度	1.16	1.32	1.31
令和元年度	0.97	1.09	1.13
令和2年度	1.46	1.49	1.44
令和3年度	1.24	1.32	1.27

授業外学修時間に関する設問は，平成 18 年度第 1 学期の授業アンケート実施分から，単位の実質化の進展状況を把握する指標のひとつとして導入し^(注4)，調査を継続している。授業外学修時間の推移を表 4 に示す。過去 5 年間は，0.98 時間から 1.46 時間の間で推移している。回答者の比率をみると，1 時間以下が大幅に増加し，その分 2 時間，3 時間および 4 時間以上が減少している。なお，平成 18 年度以降，長期間の授業外学修時間の経年変化については，高等教育推進機構ニュースレターNo.112^(注5) に詳細が掲載されている。

表4 授業外学修時間の推移（全学教育科目）

	回答者の比率(%)				授業外学修 時間平均値
	1時間以下	2時間	3時間	4時間以上	
平成29年度 (1学期・2学期)	65.8	18.9	8.3	7.1	1.28
平成30年度 (1学期・2学期)	70.6	16.6	6.7	6.0	1.18
令和元年度 (1学期・2学期)	78.5	13.6	4.8	3.1	0.98
令和2年度 (1学期・2学期)	58.5	25.3	11.0	5.2	1.46
令和3年度 (1学期・2学期)	67.8	21.8	7.0	3.5	1.26

■文系／理系別総合評点

今回の調査の総合評点（設問 1～2, 5～10, 15～16 のアンケート回答数全体の平均値）は、4.16 であった。平成 24 年度に 4.01 と初めて 4.00 を超えて以来、その値は毎年ごくわずかに上昇していった。過去 5 年間では、平成 29 年度は 4.26, 平成 30 年度は 4.25, 令和元年度は 4.17, 令和 2 年度は 4.09 であり、今回は前年度に比べて微増した。

表 5 には、非常勤講師が担当する授業を除外した（非常勤講師担当の授業は文系／理系に区分されておらず、「非常勤講師」とだけ分類されているため）科目ごとの総合評点をもとに分析した過去 5 年分の結果を示した。前年度と比較すると、全体的に評点はわずかな増加であった。今回、文系科目 4.24 に対して、理系科目は 4.06 であり、文高理低の傾向が長く続いている^(注6)。以前（文理の差が 0.05 に縮まった平成 27 年度を除く）は文系科目と理系科目の差は徐々に広がる傾向にあったが、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間は一貫してその差が縮まり続ける傾向にある。

表 5 総合評価の系別の平均値と標準偏差 (SD)

		全学教育全体	全学教育	
			文系	理系
平成29年度	平均値(SD)	4.26 (0.38)	4.40 (0.32)	4.11 (0.39)
	範囲	2.68-5.00	2.83-5.00	2.68-4.95
	授業数	696	362	334
平成30年度	平均値(SD)	4.25 (0.38)	4.38 (0.32)	4.12 (0.39)
	範囲	2.92-5.00	2.96-5.00	2.92-4.98
	授業数	720	369	351
令和元年度	平均値(SD)	4.17 (0.37)	4.28 (0.34)	4.05 (0.37)
	範囲	2.70-5.00	2.86-5.00	2.70-5.00
	授業数	671	342	329
令和2年度	平均値(SD)	4.09 (0.43)	4.18 (0.45)	3.98 (0.38)
	範囲	1.71-5.00	1.71-5.00	2.48-5.00
	授業数	679	377	302
令和3年度	平均値(SD)	4.16 (0.38)	4.24 (0.37)	4.06 (0.37)
	範囲	2.32-5.00	2.32-5.00	2.94-4.90
	授業数	615	357	258

※非常勤講師の担当授業は除外。総合評価は、設問 1~2, 5~10, 15~16 の平均値。

1.2 授業改善のための取り組み

■全学教育科目に係る学生による授業アンケート結果を受けての報告書

平成 26 年度から、授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について、各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学資料ホームページ (学内限定) に公表している。

■教育研究総長表彰

教育研究活動において優れた功績を上げた教員を顕彰する教育総長賞制度が平成 23 年度に創設された。当初教育総長賞と研究総長賞に分かれ各々 50 名程度表彰されていたが、平成 29 年度からは両賞を合わせて教育研究総長表彰として、15 名に授与されている^(注7)。

■授業参観

授業改善方策の一環として、平成 22 年度から一部の全学教育科目の授業参観を実施している。「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」の担当科目、授業アンケートにおける評価の高い科目、科目責任者が推薦する外国語・理系基礎科目、公開希望があった科目などが対象である。ティーチング・フェローやティーチング・アシスタントも参加可能であり、前者については授業参観参加を義務化している。令和元年度の参加者数は、延べ人数で 1 学期 17 名、2 学期 19 名の計 36 名であったが、令和 2 年度および令和 3 年度は実施されなかった。

■1週間あたりの授業外学修時間

本学は、平成21年度から、複数の大学が参加する学習状況調査（大学IRコンソーシアム）に加わり、毎年1年生および3年生を対象に共通アンケートを実施している。この調査においては、「1週間あたりの授業外学修時間」を聞いている。平成28年度以降の経年変化を表6に示した。令和3年度の調査結果では、1年生の平均が11.1時間であり、3年生は8.5時間であった。大幅に増加した前年度よりは減少しているものの、それ以前と比べて増加傾向にあるといえる。

表6 1週間あたりの授業外学修時間（単位：時間）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1年生	8.2	8.7	8.5	7.9	12.9	11.1
3年生	7.4	7.1	6.8	7.3	8.8	8.5

■FD (Faculty Development)

平成26年4月に、高等教育研修センターが高等教育推進機構に設置され、年間30回程度の教員研修を実施している。その研修内容は、シラバスの作成方法やELMS（北大版eラーニングシステム）、グループ学習、クリッカーなどのアクティブ・ラーニングの手法に関する研修、英語で授業を行うための研修など多岐にわたっている。

1.3 単位の実質化と総合評価の算出方法

本学は、「単位の实質化」の実現に向けて、GPA制度の本格的運用と履修単位数の上限設定の導入、FD（教育ワークショップ）で「単位の实質化」を重視した授業設計の実習を行うなど、積極的な取り組みを推進してきた。しかし、授業内容の難易度や課される作業量について、教員と学生の期待や認識に大きなズレがあることが広く知られており、授業外学修時間を増やすための教員の努力が現行の授業アンケートにおける総合評価に好意的に反映されない可能性が示唆されている（注8）。そこで、平成24年度実施分から設問3（作業量）および設問4（難易度）を総合評価の対象から除外した。この判断の妥当性は毎年の調査において確認している。

表7は、授業アンケートの各設問について、回答選択肢毎の授業外学修時間平均値を示したものである。難易度については過去の結果と同様に「5. 極めて難しい」と回答した学生の平均値が最も高く、適切な作業量であるかについては「1. 強くそう思わない」の平均値が最も高くなっている。具体的には次のとおりである。

● 設問3「授業で要求される作業量は適切であった」

回答者の85.6%が「適切だった」（「強くそう思う」または「そう思う」を選択）と回答し、これらの学生の授業外学修時間の平均は1.18時間であるのに対し、「不適切だった」（「強く

「そう思わない」または「そう思わない」を選択)と回答した5.3%の学生の授業外学修時間の平均は、1.98時間であった。つまり、学生が考える適切な作業量は、全体の授業外学修時間の平均に近い1時間10分程度で完了できるものであり、それを超える(特に2時間以上)時間を要すると、課題の量が多く、完成に時間がかかるので不適切だと判断する可能性がある」と解釈することができる。

● 設問4「授業内容の難易度は適切であった」

授業外学修時間の平均は、「極めて難しい」と回答した学生が1.96時間で最も長く、「難しい」は1.44時間、「適切」は1.14時間、「やさしい」は0.94、「極めてやさしい」は0.98時間となっている。「やさしい」よりも「極めてやさしい」のほうが僅かに授業外学修時間が長い。それを除けば難易度が高くなるほど授業外学修時間が長くなる傾向にある。また、「適切」を評価5、「難しい」と「やさしい」を評価3、「極めて難しい」と「極めてやさしい」を評価1と換算して結果をみると、「適切」と回答した授業外学修時間が最も短く1.14時間となる。理想は、「適切」と評価する学生の授業外学修時間が最も長くなることではあるが、結果が示すとおり、評価に授業外学修時間の長さが反映されない。

以上のことから、過去の調査とおおよそ同様に、「作業量」と「難易度」の回答に対する評点が、単位の実質化のめざす方向と矛盾していることが示されている(注8)。一方、表7の設問3、4以外に注目すると、全体的に授業評価が低い学生ほど授業外学修時間の長い傾向、または授業外学修時間の長い学生は授業を低く評価する傾向があることがわかる。さらに、出席率が高い学生、授業に積極的に参加している学生についても、授業外学修時間が長くなる傾向がみられる。これらは前年度と同様の結果である。

表7 回答選択肢ごとの平均授業外学修時間^{a)} (上段), 標準偏差 (中段), 度数 (下段)
[令和3年度全学教育]

設問		回答選択肢 ^{b)}					
内容	番号	1	2	3	4	5	
A 授業 内容	授業目標、内容、評価方法が明快なシラバス	Q1	1.78 (1.18) 42	1.46 (1.20) 193	1.29 (1.00) 852	1.21 (0.90) 9,069	1.32 (0.98) 5,271
	シラバスに沿って行われた	Q2	1.66 (1.01) 32	1.31 (1.12) 175	1.27 (1.01) 879	1.21 (0.90) 8,760	1.32 (0.99) 5,564
	適切な作業量	Q3	2.41 (1.37) 190	1.85 (1.17) 621	1.48 (1.08) 1,417	1.19 (0.86) 7,831	1.18 (0.92) 5,384
	難易度 ^{c)}	Q4	0.98 (0.99) 82	0.94 (0.77) 731	1.14 (0.86) 9,518	1.44 (0.99) 4,265	1.96 (1.24) 865
	難易度(変換) ^{d)}		1.87 (1.25) 947		1.36 (0.98) 4,996		1.14 (0.86) 9,518
B 授業 手法・ 教員 の 行 動	わかりやすい説明	Q5	1.74 (1.18) 270	1.46 (1.07) 889	1.30 (0.98) 2,104	1.19 (0.89) 7,825	1.27 (0.97) 4,295
	熱意が伝わった	Q6	1.61 (1.17) 144	1.41 (1.07) 541	1.34 (0.99) 2,118	1.20 (0.89) 7,160	1.27 (0.97) 5,435
	聞き取りやすい	Q7	1.64 (1.25) 177	1.31 (1.07) 549	1.34 (1.02) 1,784	1.21 (0.90) 7,377	1.25 (0.95) 5,311
	参加を促進	Q8	1.41 (1.20) 251	1.11 (0.95) 1,305	1.17 (0.88) 3,072	1.26 (0.91) 6,097	1.35 (1.00) 4,227
	適切な対応	Q9	1.58 (1.17) 85	1.33 (1.09) 347	1.20 (0.93) 2,227	1.22 (0.91) 7,004	1.31 (0.98) 5,380
	適切な機器使用	Q10	1.64 (1.16) 114	1.37 (1.07) 454	1.30 (0.98) 1,905	1.21 (0.90) 8,115	1.30 (0.99) 4,691
C 学 生 の 行 動	出席率 ^{e)}	Q11	0.53 (0.53) 23	1.06 (1.07) 37	0.72 (0.61) 223	1.13 (0.89) 2,304	1.29 (0.96) 12,781
	積極的な授業参加	Q12	0.96 (0.97) 159	0.91 (0.83) 1,330	1.09 (0.86) 3,640	1.29 (0.91) 7,123	1.55 (1.08) 3,022
D 教 育 効 果	知的刺激、学習意欲向上	Q15	1.49 (1.19) 249	1.17 (0.99) 946	1.22 (0.96) 2,715	1.21 (0.88) 7,780	1.38 (1.02) 3,726
	満足度	Q16	1.74 (1.26) 199	1.38 (1.09) 559	1.31 (1.01) 1,627	1.21 (0.89) 7,848	1.28 (0.96) 5,206

※グレー色部分は設問毎の最も高い平均授業外学修時間を示す。

a) 30分以下=0.25, 1時間=1, 2時間=2, 3時間=3, 4時間以上=4として計算した。

b) 1=強くそう思わない, 2=そうは思わない, 3=どちらともいえない, 4=そう思う, 5=強くそう思う

c) 1=極めてやさしい, 2=やさしい, 3=適切, 4=難しい, 5=極めて難しい

d) 1=極めてやさしい+極めて難しい, 3=やさしい+難しい, 5=適切

e) 1=20%, 2=40%, 3=60%, 4=80%, 5=100%

1.4 汎用的能力に関する追加設問の回答結果概要

汎用的能力の教育成果に関する4つの設問（コミュニケーション能力、人間や社会の多様性の理解、創造的な思考能力と建設的な批判的能力、社会的責任と普遍的な倫理観の向上度）を追加設問とした。これまで試行として、教養科目（コアカリキュラム）の中から無作為に抽出した一部科目を対象に調査を行ってきたが、平成29年度の調査より教養科目を担当する全教員に調査を依頼することとなった。今回、483科目（前年度：563科目）から回答を得た。4つの設問の内、どの設問を追加設問とするかは、各担当教員に任されており、全員が必ずしもすべてに回答しているとは限らない。また、教員に追加設問の有無をたずねておらず、学生から回答のあった科目すべてを対象にして分析した。したがって、教員が回答の指示を出していない場合も含まれる。以下に、令和3年度の調査結果の概要を示す。

■設問項目

設問は、「この授業を受講して、下記の「追加設問1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。」となっており、5段階評価（5：かなり向上した、4：少し向上した、3：どちらともいえない、2：あまり向上しなかった、1：向上しなかった）で回答を求めている。各設問の詳細は次のとおりである。

1) コミュニケーション能力

（人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。）

2) 人間や社会の多様性の理解

（各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。）

3) 創造的な思考能力と建設的な批判的能力

（根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。）

4) 社会的責任と普遍的な倫理観

（制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。）

■5段階評価の平均値

4つの設問それぞれについて、5段階評価の平均値を「全体」に加え、「講義／演習／必修

／選択」科目別、「文系／理系」別、「クラスサイズ」別、「科目区分」別に求め、グラフ化した（図3, 4, 5, 6）。

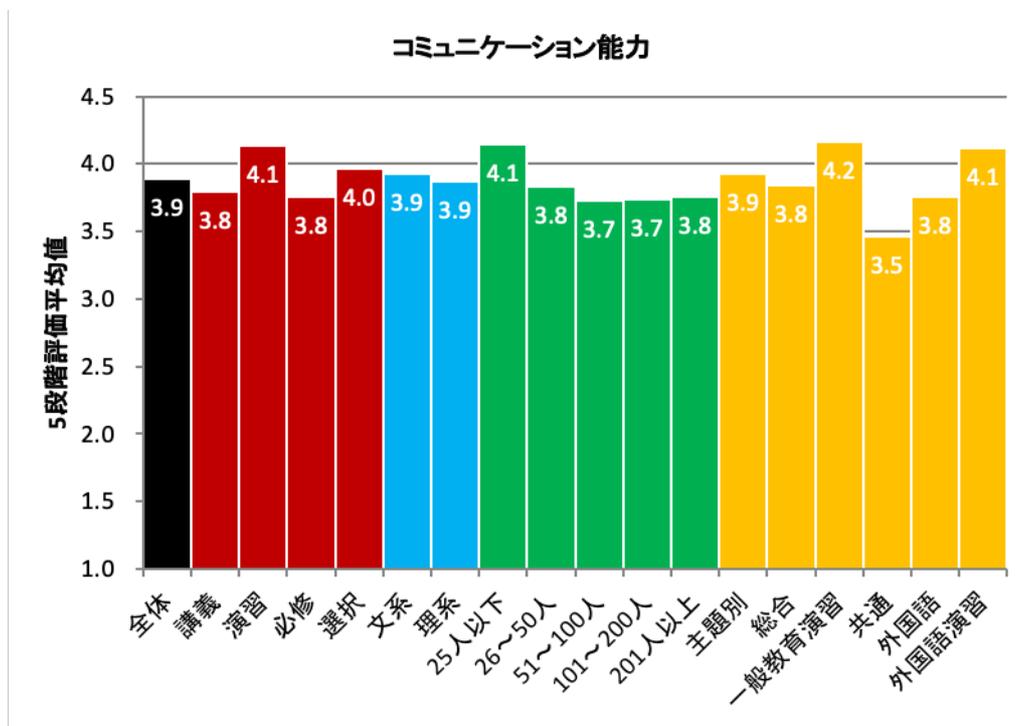


図3 コミュニケーション能力の平均評点

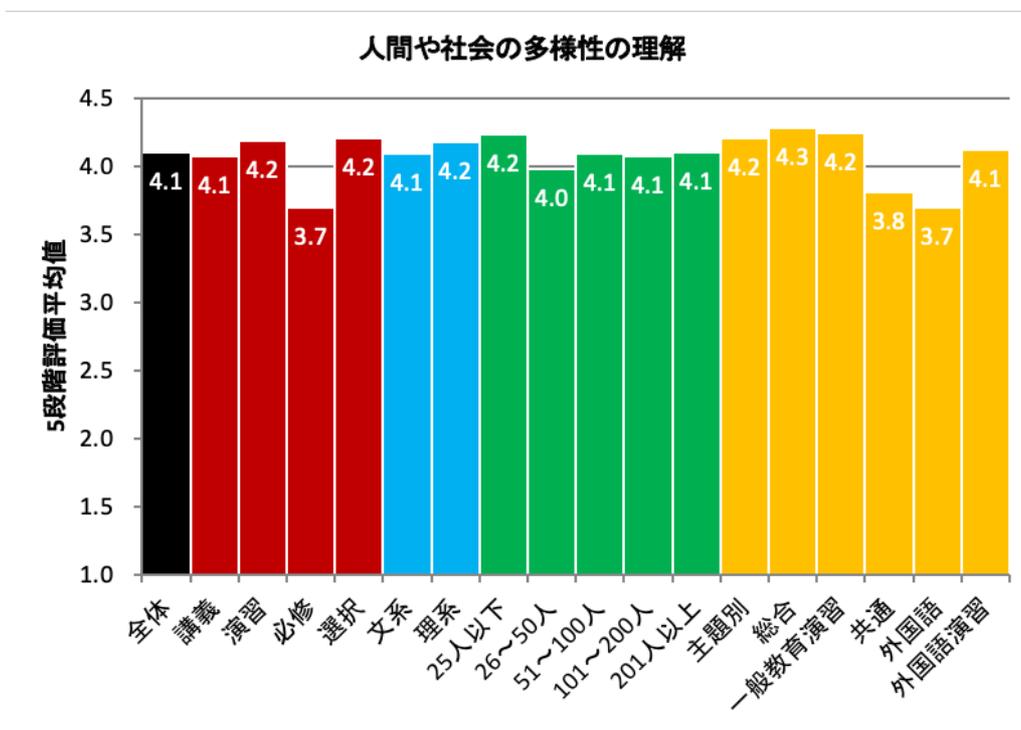


図4 人間や社会の多様性の理解の平均評点

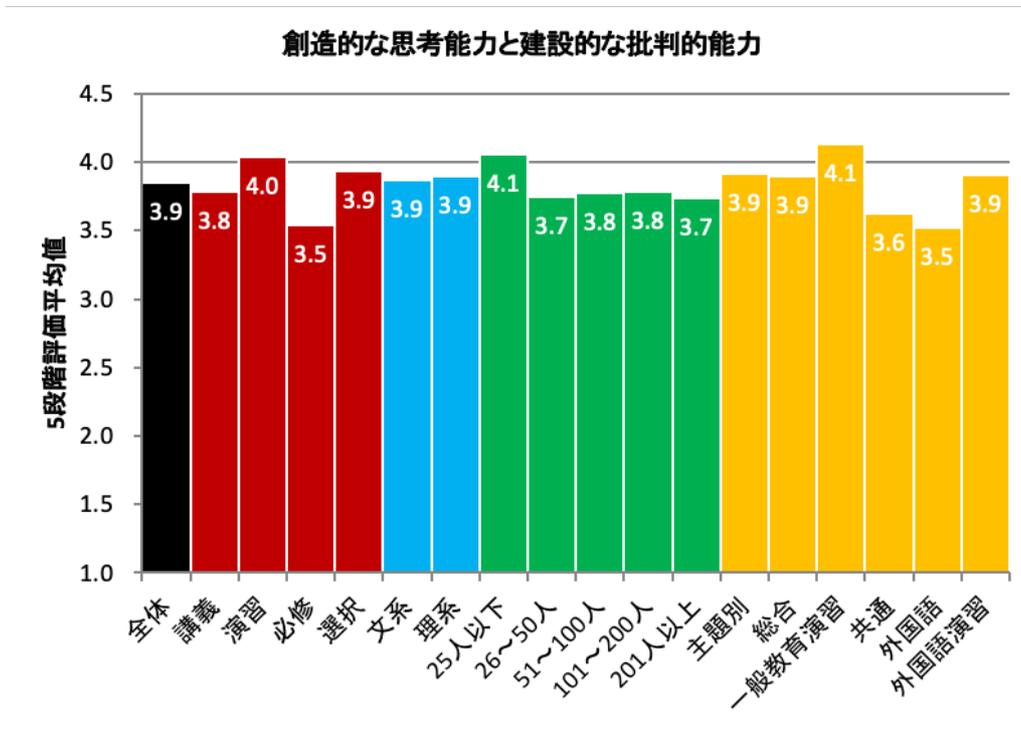


図5 創造的な思考能力と建設的な批判的能力の平均評点

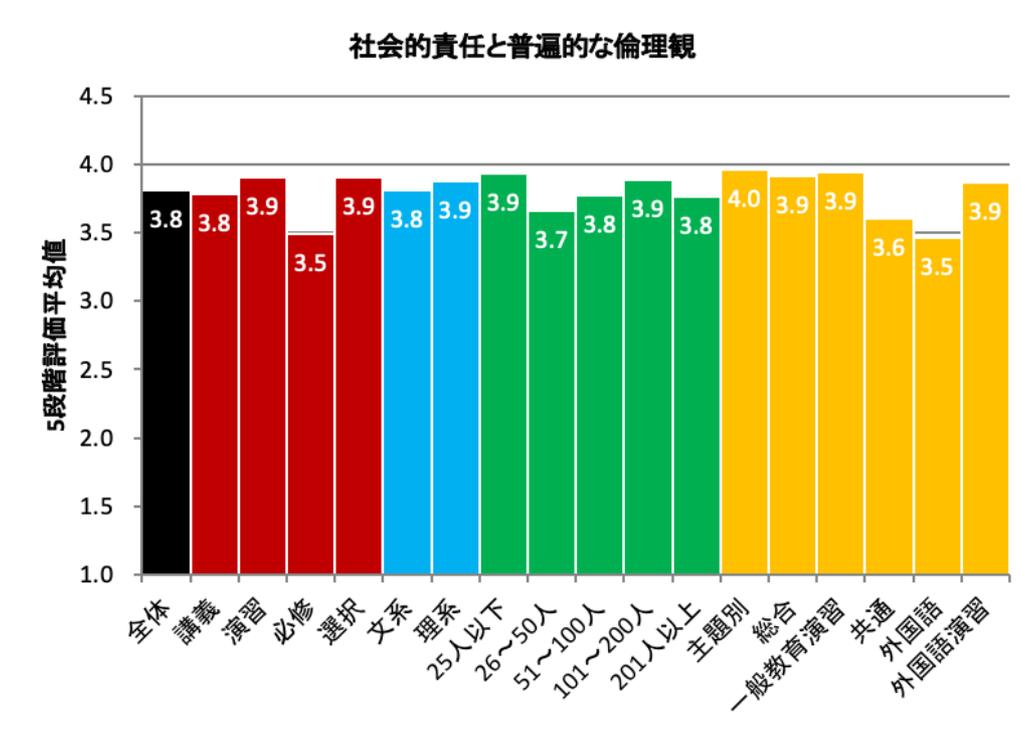


図6 社会的責任と普遍的な倫理観の平均評点

■全体平均の比較

4つの質問の全体平均を比較し、評点の高い順に並べると、「人間や社会の多様性の理解（評価平均値：4.101）」、「コミュニケーション能力（3.893）」、「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.854）」、「社会的責任と普遍的な倫理観（3.811）」であった。令和2年度は「人間や社会の多様性の理解（評価平均値：4.048）」、「コミュニケーション能力（3.778）」、「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.754）」、「社会的責任と普遍的な倫理観（3.737）」であったため、今回も前年度と同じ順番であり、すべての項目において増加がみられた。表11には、平成30年度～令和3年度の調査の各設問回答者数と標準偏差を示した。次に、設問毎に詳細に検討する。

表11 各設問の回答者人数と回答の標準偏差

設問	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差
コミュニケーション能力	3,153	0.83	4,263	0.92	6,332	0.91	2,286	0.91
人間や社会の多様性の理解	2,631	0.81	3,754	0.87	5,209	0.86	2,477	0.87
創造的な思考能力と建設的な批判的能力	2,303	0.88	3,247	0.93	4,143	0.92	2,306	0.94
社会的責任と普遍的な倫理観	2,075	0.92	3,070	0.96	4,021	0.91	1,610	0.92

■コミュニケーション能力

評価平均値の最高値は、「一般教育演習」の4.2（令和2年度：4.1，令和元年度：4.2，平成30年度：4.2，平成29年度：4.3）であった。最低値は、前年度と同様に、「共通」の3.5であった。一般教育演習が分類されている「演習」と「25人以下」でもその評価は高く、この科目が学生のコミュニケーション能力の涵養に貢献しているといえる。この設問は文系と理系の差が小さかった。

■人間や社会の多様性の理解

「総合」の評価値が4.3と最も高く、「演習」，「選択」，「25人以下」，「主題別」，「一般教育演習」が4.2でそれに続いている。前年度最も高かった「一般教育演習」（令和2年度：4.3）と総合科目（令和2年度：4.0）が入れ替わる結果となった。また、一部を除き全体的に項目間の差が小さくなったことが今年度の特徴として挙げられる。

■創造的な思考能力と建設的な批判的能力

「一般教育演習」と「25人以下」の評価値が4.1と最も高く、それに次いで、「演習」，の評価値が4.0となっている。コミュニケーション能力と同様に、少人数の演習タイプの授業の評価値が相対的に高い。この設問は文系と理系の差はほとんど認められなかった。

■社会的責任と普遍的な倫理観

「主題別」が4.0と最も高く、3.9の「演習」，「選択」，「25人以下」，「101人～200人」，「総合」，「一般教育演習」，「外国語演習」がそれに続く。この設問で特徴的なのは、「総合」

や「100人～200人」といったクラスサイズの大きい授業が「演習」や「25人以下」と同じ3.9で、少人数の演習タイプの授業との差が小さい点である。

■まとめ

4つの設問のうち2つにおいて最も評価値が高かったのが「一般教育演習」である。さらに、一般教育演習が分類される「演習」、「25人以下」がそれ続いて高評価値を示す傾向にある。これらの能力の獲得に一般教育演習や少人数の演習タイプの授業が大きく貢献していることを示す結果となっている。

■謝辞

本章におけるデータ分析は総合IR室教学部門の支援によるものである。短期間で精緻な分析を行っていただいたことに深く感謝する。

注

1. 新旧設問の対照表は下記の URL を参照。
<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2008/s1/01.html>
2. 30 分以下=0.25, 1 時間=1, 2 時間=2, 3 時間=3, 4 時間以上=4 (単位: 時間), に変換して計算した。
3. 教務情報システムのデータに基づき分類した。
4. 高等教育機能開発総合センター『センターニュース』第 74 号, 2008, pp.1-5
参照 URL : <https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2014/12/74.pdf>
5. 高等教育推進機構『ニュースレター』第 112 号, 2018, pp.12-15
参照 URL : <https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2018/10/112.pdf>
6. 文系と理系は, 授業内容ではなく, 授業担当教員の所属部局で区別している。
7. 北大時報 平成 30 年 4 月 No.769
参照 URL : https://www.hokudai.ac.jp/pr/jihou_18_04.pdf
8. 北海道大学評価室(2008)「学生による授業アンケート報告書」(平成 19 年度)
北海道大学評価室(2009)「学生による授業アンケート報告書」(平成 20 年度)
北海道大学評価室(2010)「学生による授業アンケート報告書」(平成 21 年度)
北海道大学評価室(2011)「学生による授業アンケート報告書」(平成 22 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2012)「学生による授業アンケート報告書」(平成 23 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2013)「学生による授業アンケート報告書」(平成 24 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2014)「学生による授業アンケート報告書」(平成 25 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2015)「学生による授業アンケート報告書」(平成 26 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2016)「学生による授業アンケート報告書」(平成 27 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2017)「学生による授業アンケート報告書」(平成 28 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2018)「学生による授業アンケート報告書」(平成 29 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2019)「学生による授業アンケート報告書」(平成 30 年度)
北海道大学高等教育推進機構(2020)「学生による授業アンケート報告書」(令和元年度)
北海道大学高等教育推進機構(2021)「学生による授業アンケート報告書」(令和 2 年度)

参照 URL :

<http://www.hokudai.ac.jp/pr/tenken/tenken/self/jugyo/> (平成 23 年度 1 学期まで)

<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/enquete/enquete.htm>

(平成 23 年度 2 学期以降)

2. アンケートの実施方法

対象となる授業

令和3年度第1学期及び第2学期に開講された全学教育科目を対象とした。
分析に際し、各授業を以下のように分類した。

- ・ 授業形態：講義、演習
- ・ 科目区分：一般教育演習、外国語演習、外国語科目、基礎科目、共通科目、主題別科目、総合科目、日本語科目及び日本事情に関する科目
- ・ 必修、選択の別
- ・ 受講登録学生数（クラスサイズ）：25人以下、26～50人、51人～100人、101～200人、201人以上

実施方法

令和3年度に担当している授業科目のうち適当な1つ以上の科目を授業担当教員に選択いただき、Web上で実施した。アンケートを実施する科目については、講義時間中に教員が学生に回答するよう指示をすることとしたが、アンケートシステム上では、履修登録をしている全ての科目で回答が可能となるため、令和元年度から教員からの回答指示の有無についての設問が設けられた。

令和3年度は、令和2年度に引き続きオンライン授業が行われたため、例年どおりの設問内容では回答が困難な場合が想定された。設問にコメントを加えたり、回答に「当てはまらない」という選択肢を加えたりなどの修正を施し、「当てはまらない」という回答は、集計の際は、「無回答」として計上することとした。

集計対象科目については、回答率が20%以上の科目、及び授業担当教員からアンケートを実施しないと連絡があった科目を除いた科目を対象とした。その結果、アンケート実施科目数は、前年度より100科目ほど少ない科目数となった。

設問について

アンケートの設問は、A：「授業内容に関する項目」、B：「授業手法、教員の行動」、C：「受講者の行動」、D：「教育効果」に分類した。

なお、アンケートは、全授業に対して一律の設問及び回答の選択肢であるため、授業固有の項目に関して教員が独自に設定した質問に学生が答えるという形式のアンケートを付加し、担当教員の判断で実施することができるようになっている。

追加設問について

全学教育が掲げる教育目標の達成度を検証するため、教養科目（コアカリキュラム）を対象として、従来の授業アンケートの設問に加えてコアカリキュラムを担当する教員に実施を依頼した。

4つの追加設問（①コミュニケーション能力、②人間や社会の多様性の理解、③創造的な思考能力と建設的な批判能力、④社会的責任と普遍的な倫理観）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し、学生にはその設問のみ回答させた。

3. 各教員あて通知内容

集計表

フィードバック用の集計表では、各教員は、自分の授業の総合評点（主要設問について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの）で、全学教育平均・講義科目平均・演習科目平均・必修科目平均・選択科目平均と比較することになる。

また、通常の設定問項目のほか、その授業に固有の項目に関して教員個人が質問を設定した場合には、「追加設問」の欄に5段階の評点が表示される。

各教員あて通知内容																		
「令和3年度(第1学期及び第2学期通年分)全学教育科目に係る授業アンケート」集計表																		
部 局 名 : 文学研究科・文学部		氏 名 : ●●●●		科 目 名 : 社会の認識 ●●●●●●●●●●														
授業形態 : 講義		科 目 区 分 : 全学教育科目(主題別科目)		必修・選択 : 選択		提出枚数 : 31		登録学生数 : 26~50人										
設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値						
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。																		
2. 授業はシラバスにそって行われていた。																		
5. 教員の説明はわかりやすかった。																		
6. 教員の熱意が伝わってきた。																		
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。																		
8. 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促した。																		
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。																		
10. 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。																		
15. 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。																		
16. 授業は全体として満足できるものであった。																		
平均値 (%)							総合評点*											
* 総合評点：上欄の10個の設問項目について学生が回答した評点の合計を回答学生数(無回答を除く延べ数)で除したもの																		
設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値						
3. 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。																		
4. 授業内容の難易度は適切であった。																		
11. この授業の自分の出席率は()%程度であった。																		
12. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。																		
13. この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。																		
設問内容	10 (%)	9 (%)	8 (%)	7 (%)	6 (%)	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	0 (%)	無回答 (%)	10段階評点 の平均値	全学教育 平均値	講義科目 平均値	演習科目 平均値	必修科目 平均値	選択科目 平均値
14. シラバスに記載されている到達目標は、()割程度達成できた。																		
※ 評点については次のとおりとする。																		
① 設問1~3、6~10、12、15~16 : 「5:4:3:2:1」は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」を意味する。																		
② 設問4 : 「5:4:3:2:1」は、「A:極めて難しい・B:難しい・C:適切・D:やさしい・E:極めてやさしい」を意味する。なお、平均値は「0-5:BD-3:AE-1」として算出。																		
③ 設問11 : 「5:4:3:2:1」は、「A:100%-B:80%-C:60%-D:40%-E:20%」を意味する。																		
④ 設問13 : 「5:4:3:2:1」は、「A:4時間以上・B:3時間・C:2時間・D:1時間・E:30分以下」を意味する。																		
⑤ 設問14 : 「10:9:8:7:6:5:4:3:2:1:0」は、「10割・9割・8割・7割・6割・5割・4割・3割・2割・1割・0割」を意味する。																		
追加設問																		
設問内容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	5段階評点 の平均値											
1 コミュニケーション能力																		
2 人間や社会の多様性の理解																		
3 創造的な思考能力と建設的な批判能力																		
4 社会的責任と普遍的な倫理観																		
5																		
6																		
7																		
8																		
※ 設問及び回答の選択肢について、教員各自が設定している場合は空欄となっている。																		

「5:4:3:2:1」は、「かなり向上した・少し向上した・どちらともいえない・あまり向上しなかった・向上しなかった」を意味する。

4. アンケート用紙の様式

令和3年5月 日

《部局名》
《氏名》 殿

高等教育推進機構長 山口 淳 二

令和3年度第1学期全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では、教育の質保証の観点から、学生から意見等を継続的に収集し、担当教員へのフィードバック等による教育の質向上を図るため、全学教育科目において授業アンケートを行っております。

つきましては、別紙1の実施要領を参照のうえ、令和3年度第1学期開講の下記対象科目について、授業アンケートの実施をお願いいたします。

なお、令和3年度内に対象科目が複数ある場合は、少なくとも1科目は必ず実施いただきますようお願いいたします。対象科目全科目で実施いただいても構いません。

また、アンケートの集計結果については、令和3年度1年間の結果と併せて実施教員、所属部局等の長に通知します（令和4年7月頃を予定）。その際に、アンケート結果を受けての報告書の提出についても改めて依頼しますのでご協力をお願いいたします。提出いただいた報告書は、授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ、高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって、令和元年度実施分までの授業アンケートの報告書は、高等教育推進機構のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

[\(https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/\)](https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/)

記

対象となる授業科目（令和3年度第1学期）

時間割番号	科目名	曜日講時
< 678901	△△△演習	集中 >
< 234567	○○○○学Ⅰ	月3 >
< 890123	◎ +++++学Ⅱ	集中 >

同封書類

- ・別紙1 授業アンケート実施要領（教員用）
- ・別紙2 授業アンケート回答要領（学生用）等
- ※ 授業アンケート回答要領（学生用）はE LMSのお知らせ欄に掲載して学生に周知しております。

担 当
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当
内線：5083/6098
e-mail：sougou@academic.hokudai.ac.jp

令和3年12月 日

《部局名》
《氏名》 殿

高等教育推進機構長 山口 淳 二

令和3年度第2学期全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では、教育の質保証の観点から、学生から意見等を継続的に収集し、担当教員へのフィードバック等による教育の質向上を図るため、全学教育科目において授業アンケートを行っております。

つきましては、別紙1の実施要領を参照のうえ、令和3年度第2学期開講の下記対象科目について、授業アンケートの実施をお願いいたします。

なお、対象科目が複数ある場合は、少なくとも1科目は実施いただきたく、よろしくご願ひいたします。対象科目全科目で実施いただいても構いません。

また、アンケートの集計結果については、令和3年度1年間の結果として実施教員、所属部局等の長に通知します（令和4年7月頃を予定）。その際に、アンケート結果を受けての報告書の提出についても改めて依頼しますのでご協力をお願いいたします。提出いただいた報告書は、授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ、高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって、令和2年度実施分までの授業アンケートの報告書は、高等教育推進機構のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

[\(https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/\)](https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/)

記

対象となる授業科目（令和3年度第2学期）

時間割番号	科目名	曜日講時
< 678901	△△△演習	集中 >
< 234567	○○○○学Ⅰ	月3 >
< 890123	◎ +++++学Ⅱ	集中 >

同封書類

- ・別紙1 授業アンケート実施要領（教員用）
- ・別紙2 授業アンケート回答要領（学生用）等
- ※ 授業アンケート回答要領（学生用）はE LMSのお知らせ欄に掲載して学生に周知しております。

担 当
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当
内線：5083/6098
e-mail：sougou@academic.hokudai.ac.jp

授業アンケート回答要領（学生用）

1. スマートフォンやパソコンで「ELMS（エルムス）」にログインし、「Web 履修登録システム」をクリックすると、「Web 履修登録システム」及び「学生アンケートシステム」の選択画面が表示されますので、「学生アンケートシステム」へ進んでください。



2. 学生アンケートシステム内の「アンケート回答」へ進んでください。
3. 「一般アンケート」と「授業アンケート」が表示されます。
4. 「授業アンケート」に、あなたが履修登録した授業科目が全て表示されますので、**授業担当教員から回答の指示があった当該授業の「回答」へ進んでください。**
5. 回答後は、「確認」へ進み、内容を確認した後、「送信」を押すと回答が送信されます。



※原則、授業時間内に回答することになっていますので、授業担当教員の指示に従ってください。

アンケート回答可能期間 2学期科目（冬ターム含む） 12月13日（月）～ 2月18日（金）
 秋ターム（一部集中講義） 11月 8日（月）～12月17日（金）
 集中講義（冬休み実施分） 12月13日（月）～ 3月31日（木）

※追加設問 1～4（Q22～25）は、教養科目（主題別科目、総合科目、一般教育演習、共通科目、外国語科目、外国語演習）を対象としています。追加設問 5～8 は、授業固有の項目について授業担当が独自に設定する設問です。追加設問の回答については、授業担当教員の指示に従い回答してください。

※「保存して後で続行する」を押すと、回答は一時保存されますが、このボタンを利用せずに、回答の途中で画面を閉じる、キャンセルボタンを押す等してしまうと、回答内容は保存されないため、最初からやり直す必要がありますので、ご注意ください。

※各科目の回答画面において、科目名をクリックするとシラバスが閲覧できます。

※授業担当教員から、アンケートの回答指示がない科目は回答不要です。

問い合わせ

アンケートの実施について質問があれば高等教育推進機構の番窓口にお問い合わせください。
 sougou@academic.hokudai.ac.jp

授業アンケート実施要領（教員用）

アンケートの実施方法

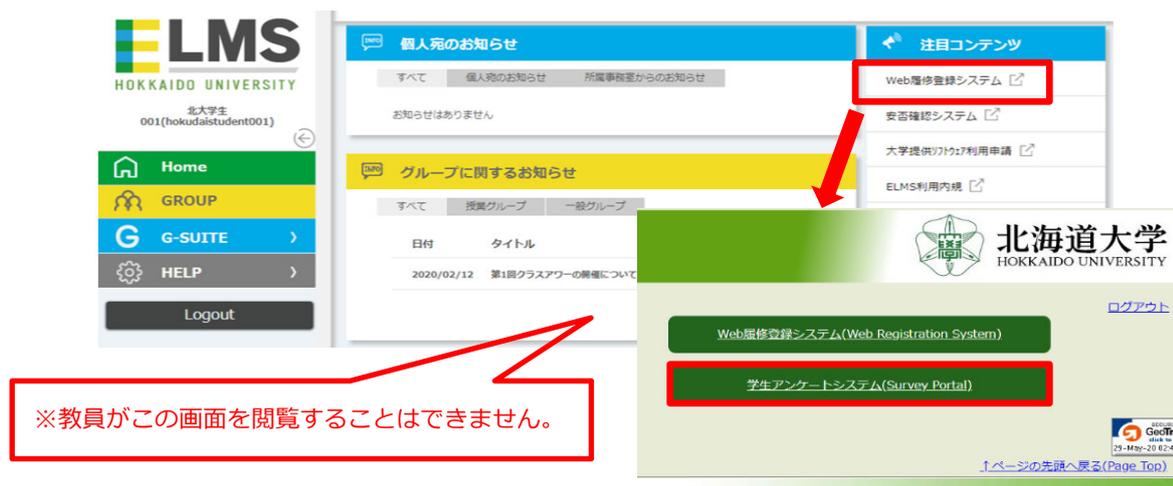
授業アンケートへのご協力ありがとうございます。

令和3年度第2学期におきましては、対面授業に併せて、オンライン授業が行われております。例年どおりの設問内容では回答が難しい場合が想定されますので、設問にコメントを加えたり、回答に「当てはまらない」という選択肢を加えたりなどの修正を施しております。

アンケートの回答は、可能な限り、最終授業等の最後の約15分間に、受講学生にスマートフォンやパソコンを使って回答するよう指示願います。オンデマンド授業の場合には、最終授業相当分をアップロードする際に、アンケートへの回答を指示願います。

【学生への指示事項】

1. 対象となる授業科目の中から少なくとも1科目について回答するよう指示してください。
2. ELMS にログインし「Web 履修登録システム」→「学生アンケートシステム」→「授業アンケート」と進むと、履修している全学教育科目が全て表示されるので、その中から当該授業科目を選択し、回答させてください。



3. 授業時間内に回答することを原則としますが、授業時間内での回答指示が困難な場合は、回答可能期間内に入力するよう指示してください。

回答可能期間	2学期科目（冬ターム含む）	12月13日（月）～2月18日（金）
	秋ターム（一部集中講義）	11月8日（月）～12月17日（金）
	集中講義（春休み実施分）	12月13日（月）～3月31日（木）

4. 学生には ELMS のお知らせにて回答要領を配付しております。別紙2の学生用回答要領等をご参照ください。

（注）期末試験実施日には授業アンケートを行わないでください。その前の週の通常の授業時間を用いて授業アンケートを行う等ご対応願います。やむを得ず期末試験の日に授業アンケートを実施する場合は、授業時間を試験実施時間とアンケート実施時間を厳格に分けてください。試験が完全に終了し、答案は提出済みの状態にしてからスマートフォンを机に出させるようにしてください。

（注）非正規生でも ELMS に登録している学生はアンケートに回答することができます。

（裏面もご覧ください）

教養科目（コアカリキュラム）の授業を担当の場合

平成28年度から、すべての教養科目（コアカリキュラム：主題別科目、総合科目、一般教育演習、共通科目、外国語科目、外国語演習）を対象として、通常の授業アンケートの設問に加えて「追加設問」を実施することとしています。これは大学が認証評価を受ける上で、教育目標の達成度を評価することが必須となっているためです。

依頼文書の「対象となる授業科目」に◎が付してある科目が教養科目（コアカリキュラム）の授業です。

教養科目（コアカリキュラム）で授業アンケートを行う場合には、通常の授業アンケートに加えて、「全学教育科目 授業アンケート」下部の「教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問」（Q22～Q25）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し、その設問に回答するよう学生に指示願います。

・追加設問1：コミュニケーション能力（Q22）

人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。

・追加設問2：人間や社会の多様性の理解（Q23）

各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。

・追加設問3：創造的な思考能力と建設的な批判的能力（Q24）

根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。

・追加設問4：社会的責任と普遍的な倫理観（Q25）

制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。

独自に設定した追加設問がある場合

回答欄の「追加設問 5～8（Q26～29）」を使用し、授業固有の項目について、独自に設問を設定してアンケートを実施することができます。独自に設問を設定する場合は、そのアンケート内容・回答方式等とともに、全学的に実施するアンケートとは異なる旨学生に説明してください。

1. 独自に設定できる設問は4問以内です。アンケートシステム上で教員が個別に設定することはできませんので、設問を授業中に板書等により学生に提示し、各教員が記録しておいてください。
2. 各教員へフィードバックする内容は、追加した設問の選択肢「5, 4, 3, 2, 1」の回答の割合です。上記制限を超えて実施した場合、集計できませんので、あらかじめご承知おきください。

アンケートの集計について

学生は、履修登録をした全ての授業科目について、アンケートの回答が可能となっており、回答の指示をしていない科目でも回答があった場合は回答データが作られます。よって回答率20%以上の科目を集計対象科目とし、エクセレントティーチャーの対象科目、所属長への通知対象科目としております。

複数科目ご担当されている場合で、アンケートを実施しない科目がある場合は、2月18日（金）までに教育推進課総合教育担当にご連絡ください。（sougou@academic.hokudai.ac.jp）

全学教育科目授業アンケート回答画面

※教員は回答画面を閲覧できないので、こちらを参照願います。

アンケート名 (Survey Name)	全学教育科目 授業アンケート (令和3年度第2学期) , General Education Course Evaluation Survey. (2021,2 semester-Intensive courses)
説明 (Message)	<p>このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされますので、率直で建設的な回答をお願いします。</p> <p>アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありません。</p> <p>21の設問とコアカリキュラムに関する追加設問があります。自由記述欄もありますので、この授業やアンケートに対する意見を述べてください。アンケート回答後は、「送信」を押して終了してください。</p> <p>今年度は、オンライン授業が行われております。設問は、対面授業を想定して作られていますので、オンライン授業に合致しない部分があります。それについては、以下のように読み替えて回答してください。</p> <p>「シラバス」は、初回授業時の授業方針の説明も含まれます。</p> <p>「教員の説明、話し方」は、オンライン上で配信された教員作成の資料や説明文を含みます。</p> <p>「学生の発言、質問」は、オンライン上での投稿も含まれます。</p> <p>「自分の出席(率)」は、オンデマンド授業を閲覧したことを含みます。</p> <p>それでも回答に悩んだ場合は、「当てはまらない」という選択肢で回答してください。</p> <p>This survey is intended to improve the overall class experience for students taking the General Education Courses. Please feel free to give us your straightforward and productive feedback. You will not be at a disadvantage as a result of answers given.</p> <p>Please answer the 21 questions below regarding this General Education Course followed by the Additional Questions on the Core Curriculum Courses. Feel free to give your comments on and/or requests concerning this General Education Course and this Survey. Click "Confirm" to complete the Survey.</p> <p>Many classes have shifted from in-person to online this academic year. Questions are written to find out your in-person class experience, so you may find some questions inapplicable to online classes. Please read the below instructions before starting the survey.</p> <ul style="list-style-type: none"> - The term "syllabus" includes "course objectives" which your course instructor explains in the first class of the course. - "Course instructor's explanation" and "Course instructor's verbal expression" include the handouts (course materials and instructions) prepared and delivered online by your course instructor. - "Students' questions" and "Students' discussions" include those submitted or held online. - "My attendance" percentage includes access to on-demand classes. - If you are not certain about the answer, select "Not applicable".
回答期間 (Survey Period)	2021/12/13~2022/02/18
時間割番号 (Course Number)	
科目名 (Course Title)	
担当教員 (Name of Academic)	
曜日・講時 (Day & Period)	

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。 Please select the answer which best describes your perception of this course (lectures/seminars).

※授業担当教員から回答の指示がない科目は、アンケートに回答する必要はありません。 If the course instructor in charge of the class does not ask you to answer the survey, then it is not necessary to do it.

Q1 この授業科目で教員からアンケートの回答指示がありましたか。

Did the course instructor ask you to answer this survey? [mandatory question] 【必須入力】

はい / Yes

いいえ / No ※指示がない場合は、この設問を含め、全ての設問を回答せずに回答画面を閉じてください。 If there is no instruction to answer the survey, then there is no need to do it and you can close the answer window.

Q2 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含

む。)

The syllabus clarified the course goals, contents and assessment plan.

Note: The term "syllabus" here includes the course objectives which your course instructor explained in the first class of the course.

- 強く思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強く思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q3 授業はシラバスに沿って行われていた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含む。)

The course instructor followed the syllabus closely.

Note: The term "syllabus" here includes the course objectives which your course instructor explained in the first class of the course.

- 強く思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強く思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q4 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。

The amount of required study outside of class was adequate e.g. papers, assignments and self-study (preparation/review).

- 強く思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強く思わない / Strongly Disagree

Q5 授業内容の難易度は適切であった。

The course content was difficult to understand.

- 極めて難しい / Strongly Agree (very difficult)
- 難しい / Agree (difficult)
- 適切 / Neither Agree nor Disagree (at the right level)
- やさしい / Disagree (easy to understand)
- 極めてやさしい / Strongly Disagree (very easy to understand)

Q6 教員の説明はわかりやすかった。(オンライン上で配信された教員作成の資料や説明文を含む。)

The course instructor's explanation was to the point and easy to follow.

Note: The term "explanation" here includes the online handouts provided by your course instructor.

- 強く思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強く思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q7 教員の熱意が伝わってきた。

The course instructor demonstrated his/her dedication and commitment in teaching.

- 強く思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強く思わない / Strongly Disagree

当てはまらない / Not applicable

Q8 教員の話し方は聞き取りやすかった。

The course instructor's speech was clear and comprehensible.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q9 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。発言はオンライン上での投稿を含む。

The course instructor's approach was effective in encouraging students' active participation in class (e.g. students' discussions, self-study, activities etc.)

Note: The term "students' discussions" here includes the comments posted to online discussions.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q10 教員は学生の質問・発言等（オンライン上での投稿を含む）に適切に対応した。

The course instructor clearly and effectively responded to students' questions and comments including those posted online.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q11 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。

The course instructor effectively used a blackboard, textbooks, handouts and audiovisual equipment.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q12 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。（出席はオンデマンド授業を閲覧したことを含む。）

My attendance percentage was:

Note: The term "attendance percentage" here includes access to on-demand classes.

- 100
- 80
- 60
- 40
- 20

Q13 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。（質問、発言はオンライン上での投稿を含む。）

I actively participated in the class asking questions, voicing opinions, conducting investigations and engaging in self-study.

Note: The terms "questions" and "opinions" here include those posted online.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q14 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。

The average number of hours required for self-study (preparation/review) before/after a 90 minute class was:

- 4時間以上 / 4 hours or more
- 3時間 / 3 hours
- 2時間 / 2 hours
- 1時間 / 1 hour
- 30分以下 / 30 minutes or less

Q15 シラバスに記載されている到達目標は、()割程度達成できた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含む。)

I feel I have attained the learning objectives provided in the syllabus to the extent of:

(Select a number between 0 and 10 to describe the level of your attainment)

Note: The term "syllabus" includes "course objectives" which your course instructor explained in the first class of the course.

- 10
- 9
- 8
- 7
- 6
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1
- 0

Q16 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。

Having been inspired by the knowledge gained from attending classes, I would like to further the study of the subject.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree

Q17 授業は全体として満足できるものであった。

I am satisfied with the overall quality of the course.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree

※Q18~Q21は自由記述による回答で、各設問2000文字まで入力可能です。Q22~Q29は、授業科目毎の追加設問になりますので、授業担当教員の指示に従って回答してください。Please answer Q18 to Q21 (up to about 500 words per question); Q22 to Q29 are additional questions designated for specific classes, so please follow the instructor's directions if answering these questions is necessary for your class.

Q18 この授業で改善した方が良いと思う点について書いてください。

What could be improved about the course?

Q19 この授業で良かったと思う点について書いてください。
What did you like about the course?

Q20 その他、気づいたことがありましたら書いてください。
Any other comments?

Q21 授業アンケートの実施方法や設問内容などについて、意見がありましたら書いてください。
Let us hear your views on the survey method and questionnaire content.

教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問（基礎科目は含まない。）【授業担当教員から指示があった場合に、指示のあった設問にのみ回答してください。】 Additional Questions on liberal arts course subjects (core curriculum)
【Answer only questions selected by your course instructor and follow guidance】

◎この授業を受講して、下記の「追加設問1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。該当するものを1つ選んでください。 Do you think you have improved your competence, understanding and awareness in the areas described in the following questions through the classes you attended? Please select the answer which best describes your perception.

Q22 【追加設問1：コミュニケーション能力】 人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。
【Additional Question 1: Communication skills】
I make a correct interpretation of the phenomena related to human and society as well as natural phenomena mainly by using language. I can also accurately portray my own thoughts using language skills, and exchange ideas with others.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q23 【追加設問2：人間や社会の多様性の理解】 各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。
【Additional Question 2: Understanding the diversity of human and society】
I have experienced the width and the depth of specialized fields through interdisciplinary lectures delivered by experts of their fields. It has made me become positive to broaden my perspective in other academic areas other than my interests.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q24 【追加設問3：創造的な思考能力と建設的な批判的能力】 根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。
【Additional Question 3: Ability to think creatively and criticize constructively】
Through learning and practicing what the evidence-based deduction is, how to solve contradiction, and how to

make a right and impartial decision, I have developed an understanding and an ability of creative and critical attitude.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q25 【追加設問 4 : 社会的責任と普遍的な倫理観】 制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。

【Additional question 4: Social responsibility and universal ethical perspective】

Through examining case studies, I put myself to think universal ethics as a human being or a citizen in the society with highly developed institutions and science & technology.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q26～Q29は、授業固有の項目について独自に設定する設問です。授業担当教員から指示があった場合のみ回答してください。 Questions 26 through 29 are set up for specific items in the class. Please answer these questions only if instructed to do so by the course instructor.

Q26 【追加設問 5】 Additional question 5

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

Q27 【追加設問 6】 Additional question 6

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

Q28 【追加設問 7】 Additional question 7

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

Q29 【追加設問 8】 Additional question 8

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

閉じる

5. 調査対象の解析

アンケートの依頼・実施者数（令和3年度）

部局等名 (授業を担当する教員がいる部局)	教員数 (R3.5.1)	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
文学研究院	91	77 (2)	49	57	63.64%	74.03%
教育学研究院	36	17	14	15	82.35%	88.24%
法学研究科	63	25	13	15	52.00%	60.00%
経済学研究院	41	29	18	19	62.07%	65.52%
理学研究院	195	105 (3)	70	93	66.67%	88.57%
医学研究院	186	11	8	14	72.73%	127.27%
歯学研究院	71	7	4	5	57.14%	71.43%
薬学研究院	58	10	9	9	90.00%	90.00%
工学研究院	277	49	32	32	65.31%	65.31%
農学研究院	122	19	8	11	42.11%	57.89%
獣医学研究院	63	8	5	5	62.50%	62.50%
水産科学研究院	71	7	5	5	71.43%	71.43%
メディア・コミュニケーション研究院	70	59 (14)	46	206	77.97%	349.15%
保健科学研究院	73	6 (1)	5	6	83.33%	100.00%
情報科学研究院	99	21	11	13	52.38%	61.90%
地球環境科学研究院	52	26 (1)	21	25	80.77%	96.15%
先端生命科学研究院	35	8 (1)	5	5	62.50%	62.50%
公共政策学連携研究部	20	6	3	3	50.00%	50.00%
低温科学研究所	46	5	4	4	80.00%	80.00%
電子科学研究所	53	12	7	8	58.33%	66.67%
遺伝子病制御研究所	34	4	3	3	75.00%	75.00%
触媒科学研究所	21	5	3	3	60.00%	60.00%
スラブ・ユーラシア研究センター	14	2	2	2	100.00%	100.00%
情報基盤センター	14	5	4	4	80.00%	80.00%
総合博物館	8	2	2	3	100.00%	150.00%
北方生物圏フィールド科学センター	42	10	4	5	40.00%	50.00%
人獣共通感染症リサーチセンター	25	1	1	1	100.00%	100.00%
観光学高等研究センター	4	3	1	1	33.33%	33.33%
アイヌ・先住民研究センター	8	2	1	1	50.00%	50.00%
保健センター	1	1	1	1	100.00%	100.00%
人材育成本部	5	1	1	1	100.00%	100.00%
数理・データサイエンス教育研究センター	5	2 (2)	2	3	100.00%	150.00%
高等教育推進機構	47	26 (10)	21	36	80.77%	138.46%
学生相談総合センター	3	2	1	1	50.00%	50.00%
本学教員小計	1,953	573 (34)	384	615	67.02%	107.33%
非常勤講師小計	114	114	65	114	57.02%	100.00%
合計	2,067	687 (34)	449	729	65.36%	106.11%

※ 教員数は、令和3年5月1日現在の在籍数。

※ 担当教員数のかつこ内は、特任教員数で内数。また、非常勤講師は、令和3年度に全学教育科目の授業を担当した実数。

※ 担当教員数(全学教育科目授業を担当した教員)及び実施教員数(授業アンケートを提出した教員)は実数。授業アンケート実施後に所属を異動した場合でも、授業アンケート実施当時の所属でカウント。

※ 回収率は、授業数(同一教員が複数の授業についてアンケートを実施した場合を含む)を担当教員数で除したもので、担当教員あたりの延べ実施率。

(参考) 令和2年度(平成31年度)実績

部局等名 (授業を担当する教員がいる部局)	教員数 (H31.5.1)	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
本学教員小計	1,921	555 (35)	439	679	79.10%	122.34%
非常勤講師小計	113	113	84	151	74.34%	133.63%
合計	2,034	668 (32)	523	830	78.29%	124.25%

6. アンケート結果と解析

授業の総合評価

総合評点は、設問 1～2, 5～10, 15～16 の選択肢を評点とし、平均したものである。また、アンケート対象を全学教育科目に絞り、科目を「外国語」「講義科目」「演習科目」「必修科目」「選択科目」に分類した。その結果、総合評点は、以下ようになった。なお、表中では1学期を「前」、2学期を「後」と表記している。

	28前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	3.95	4.12	4.11	4.02	4.01	4.09
外国語	4.18	4.39	4.36	4.25	4.11	4.2
講義科目	3.88	4.05	4.04	3.98	3.96	4.03
演習科目	4.29	4.47	4.46	4.37	4.29	4.37
必修科目	3.82	3.99	4.03	3.94	3.88	3.95
選択科目	4.07	4.24	4.15	4.08	4.15	4.24

※図および表中の数値について

図および表中の数値は最小桁についての四捨五入で表している。このため、表示桁数の違いで値が異なることや、個々のデータの和が合計値と異なることがある。

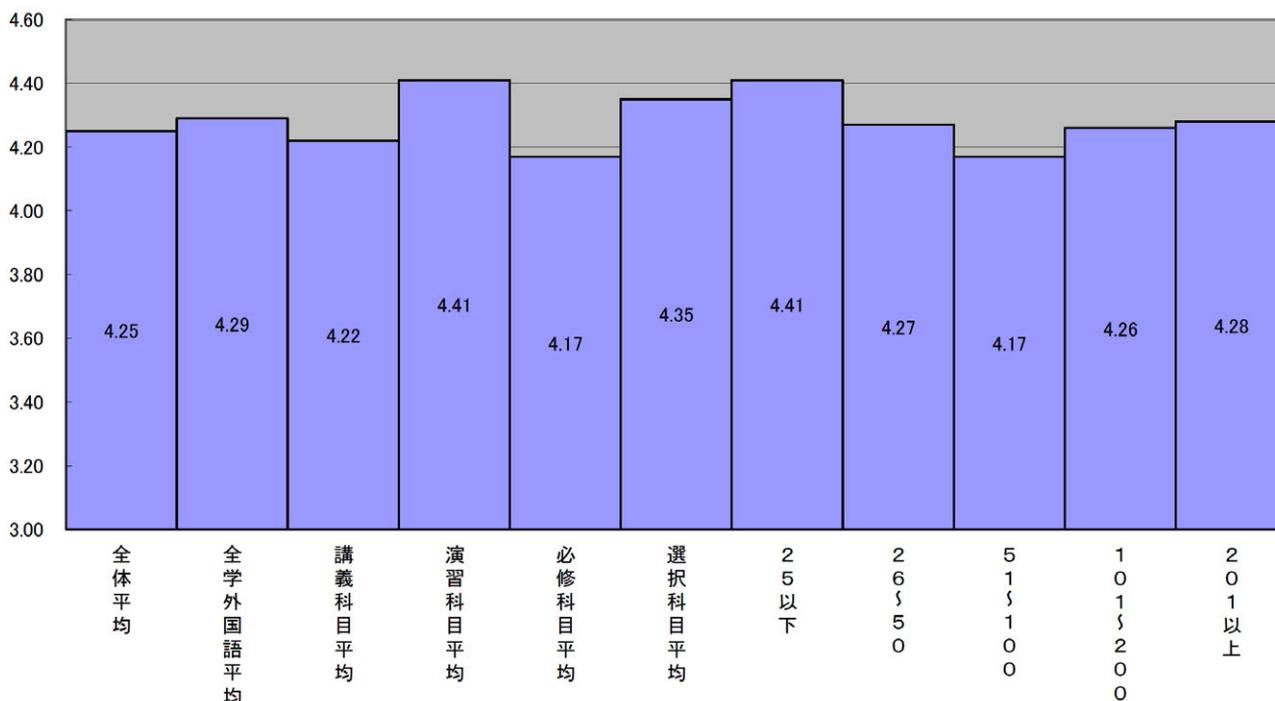
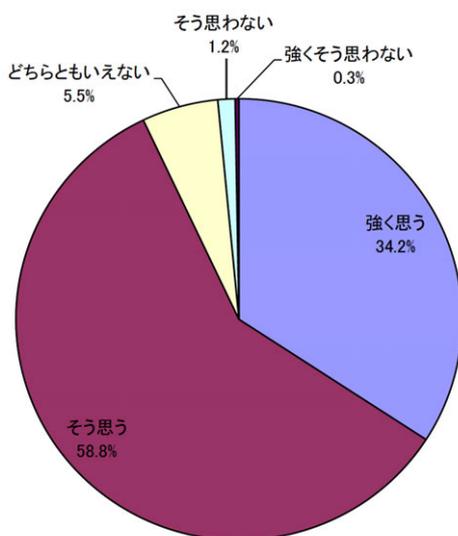
A 授業内容に関する項目

設問1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。

円グラフ：令和3年度1学期と2学期の回答比率（無回答を除く）を表す（以下各設問同様）。

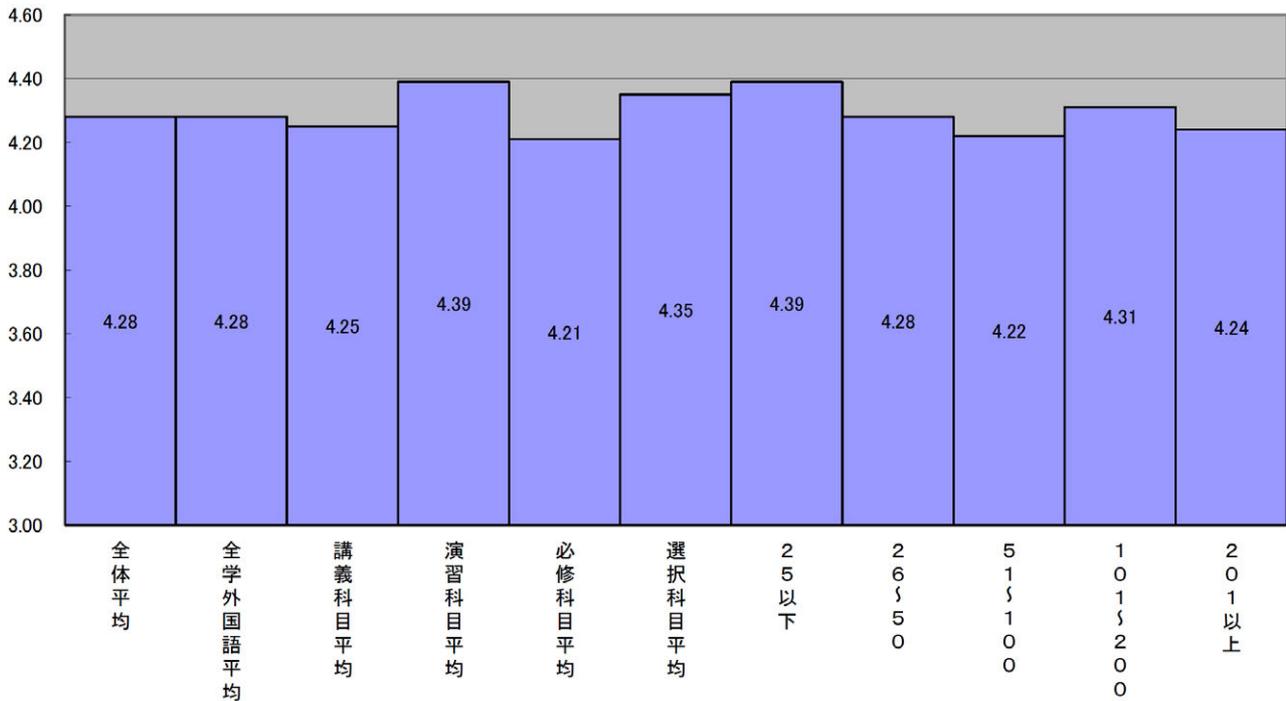
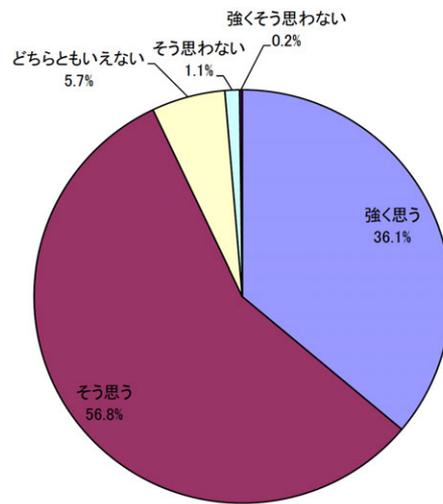
棒グラフ：この設問について、各分類における評点の平均値を表す（以下各設問同様）。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	84.0%	86.1%	87.8%	90.5%	93.0%	1.8%	1.4%	1.6%	2.0%	1.5%
外国語	89.6%	90.5%	91.2%	87.7%	93.9%	1.1%	0.8%	0.6%	2.9%	1.2%
講義科目	82.7%	85.0%	87.0%	90.1%	92.4%	2.0%	1.5%	1.7%	2.1%	1.6%
演習科目	91.0%	92.5%	94.4%	92.2%	95.9%	1.0%	0.7%	0.6%	1.9%	1.0%
必修科目	81.0%	83.0%	85.5%	87.8%	90.9%	2.1%	1.6%	1.4%	2.7%	1.9%
選択科目	87.1%	88.2%	89.4%	93.2%	95.3%	1.6%	1.3%	1.6%	1.4%	1.1%



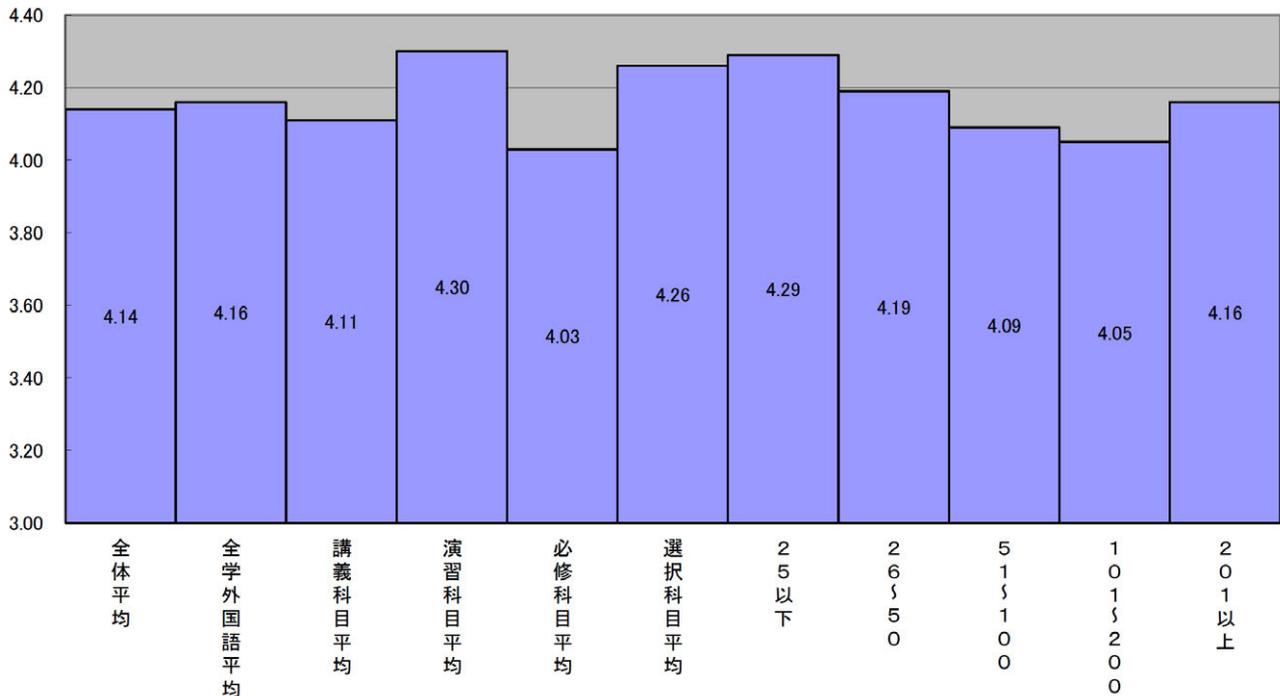
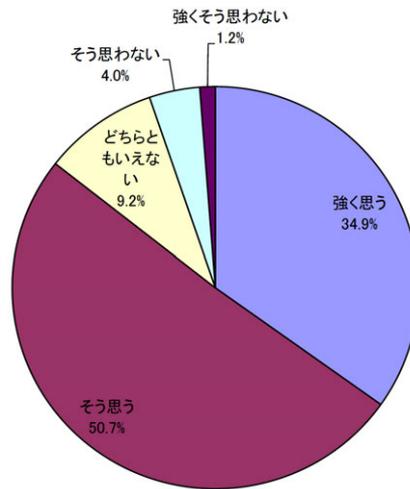
設問2 授業はシラバスにそって行われていた。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	83.9%	86.5%	88.3%	90.7%	92.9%	2.0%	1.5%	1.6%	1.9%	1.3%
外国語	89.3%	90.6%	91.6%	86.8%	92.5%	1.2%	0.9%	0.6%	3.3%	1.4%
講義科目	82.6%	85.5%	87.7%	90.5%	92.6%	2.1%	1.6%	1.7%	2.0%	1.4%
演習科目	90.8%	91.9%	94.0%	91.4%	94.5%	1.3%	0.9%	0.7%	1.8%	1.2%
必修科目	80.6%	83.5%	86.9%	88.5%	91.8%	2.3%	1.5%	1.3%	2.6%	1.5%
選択科目	87.2%	88.4%	89.4%	92.9%	94.3%	1.7%	1.5%	1.8%	1.3%	1.2%



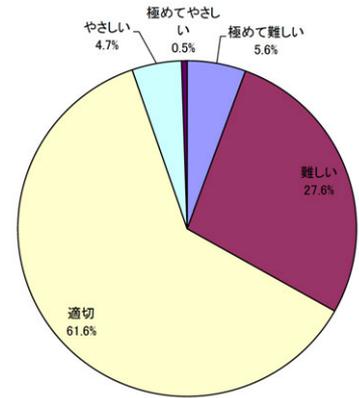
設問3 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	77.6%	81.2%	83.2%	83.2%	85.6%	5.8%	5.4%	5.1%	6.8%	5.3%
外国語	84.8%	87.6%	87.5%	83.0%	85.5%	4.1%	3.2%	3.9%	6.7%	4.8%
講義科目	76.7%	80.4%	82.5%	82.5%	84.8%	5.5%	5.5%	5.3%	7.2%	5.6%
演習科目	82.3%	85.4%	89.5%	87.0%	89.5%	7.2%	4.9%	3.1%	4.8%	3.6%
必修科目	73.8%	77.8%	80.3%	78.9%	81.9%	7.9%	7.6%	7.1%	9.3%	7.3%
選択科目	81.3%	83.4%	85.3%	87.7%	89.9%	3.7%	3.9%	3.7%	4.2%	2.9%

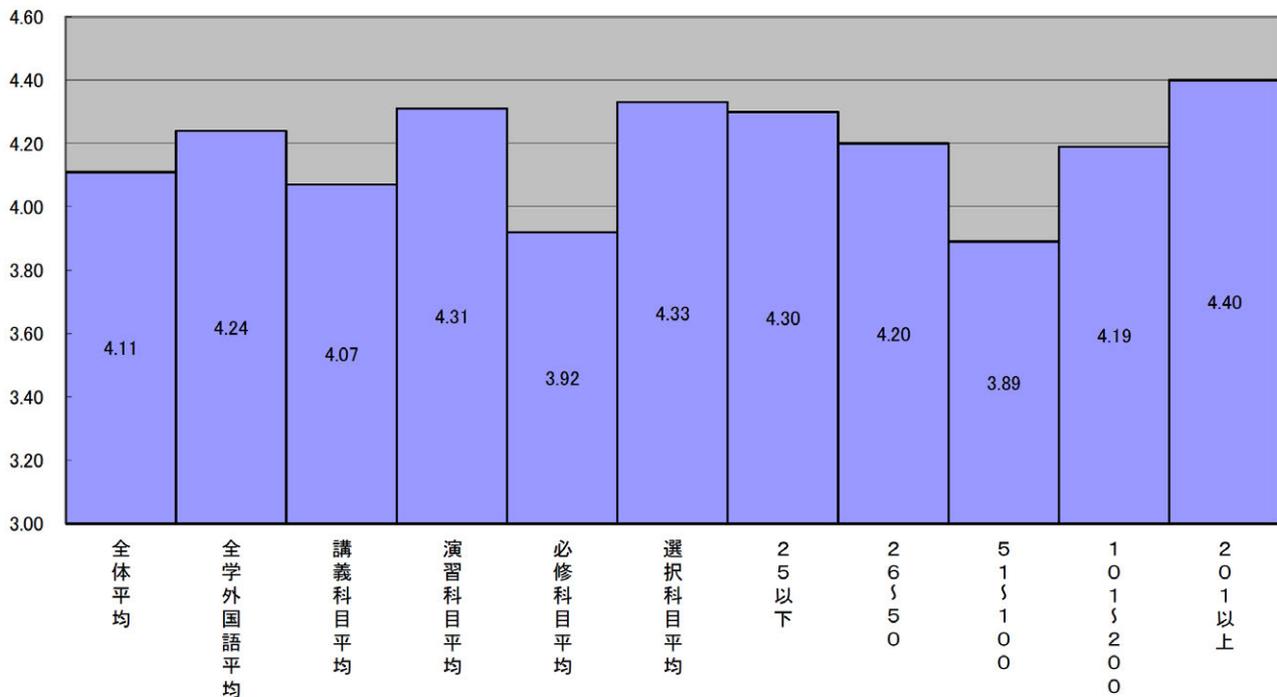


設問4 授業内容の難易度は適切であった。

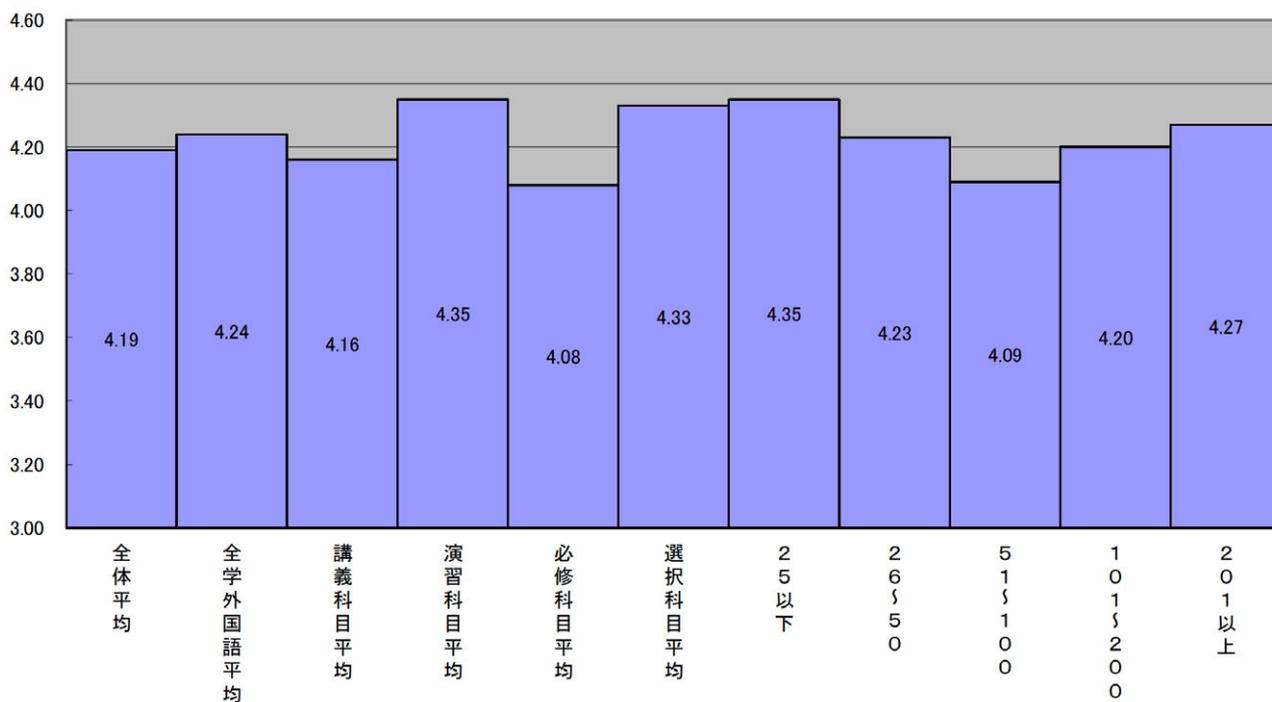
	29 前・後	30 前・後	元 前・後	2 前・後	3 前・後
極めて難しい	11.8%	10.1%	8.2%	5.4%	5.6%
難しい	29.4%	28.9%	28.1%	28.8%	27.6%
適切	53.8%	55.7%	58.6%	62.1%	61.6%
やさしい	4.2%	4.6%	4.3%	3.5%	4.7%
極めてやさしい	0.9%	0.8%	0.7%	0.3%	0.5%



	極めてやさしい +極めて難しい (評点 A と E の合計)					やさしい +難しい (評点 B と D の合計)					適切 (評点 C)				
	29 前・後	30 前・後	元 前・後	2 前・後	3 前・後	29 前・後	30 前・後	元 前・後	2 前・後	3 前・後	29 前・後	30 前・後	元 前・後	2 前・後	3 前・後
全学教育全体	12.7%	10.8%	9.0%	5.6%	6.1%	33.5%	33.5%	32.4%	32.3%	32.3%	53.8%	55.7%	58.6%	62.1%	61.6%
外国語	7.6%	6.6%	5.8%	3.7%	4.4%	28.8%	28.2%	26.8%	29.3%	29.5%	63.6%	65.2%	67.3%	67.0%	66.1%
講義科目	13.6%	11.6%	9.4%	5.9%	6.6%	34.5%	34.2%	33.1%	33.3%	33.4%	52.0%	54.2%	57.5%	60.8%	60.1%
演習科目	8.1%	6.7%	5.0%	4.1%	3.7%	28.3%	29.2%	27.1%	26.9%	27.0%	63.6%	64.1%	67.9%	69.1%	69.3%
必修科目	16.1%	14.4%	11.2%	7.8%	8.3%	38.0%	36.7%	35.8%	37.6%	37.6%	45.9%	49.0%	53.0%	54.7%	54.1%
選択科目	9.3%	8.5%	7.3%	3.4%	3.6%	29.2%	31.4%	30.1%	26.8%	26.1%	61.5%	60.2%	62.6%	69.9%	70.3%



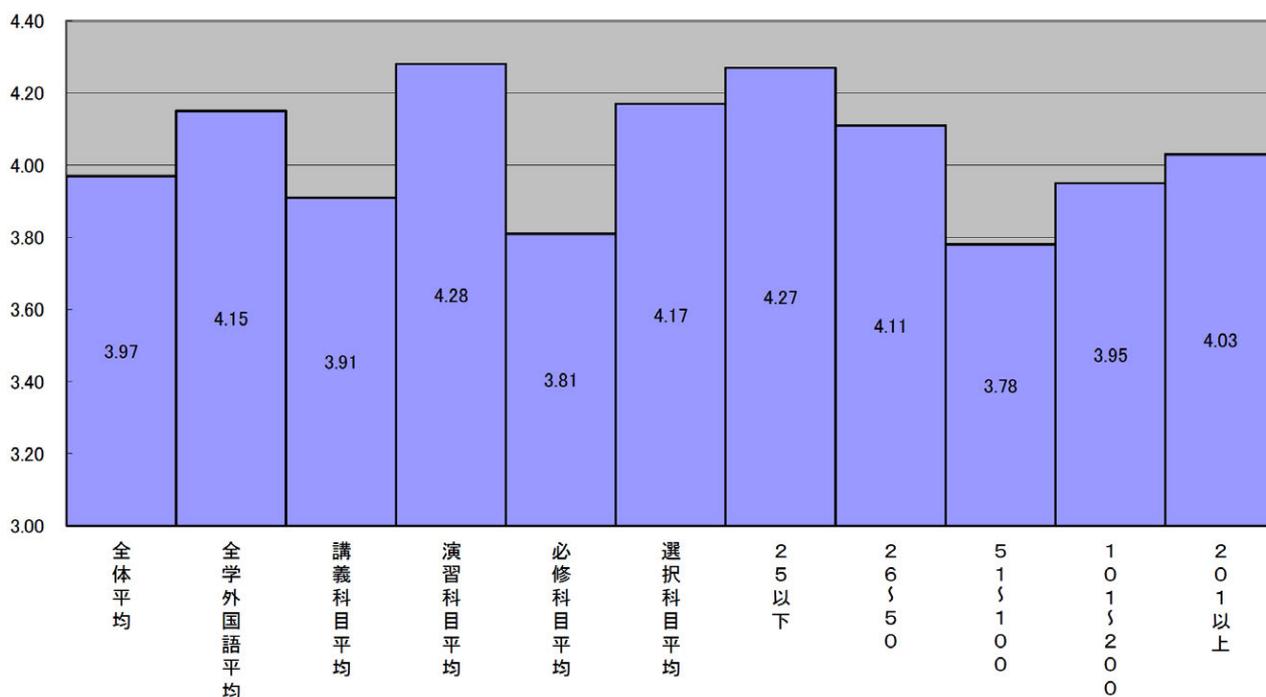
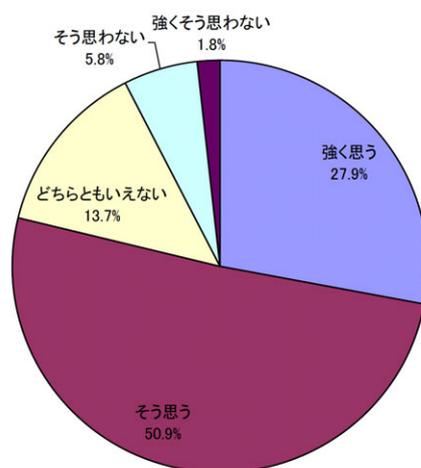
【設問 1～4の合計】



B 授業手法, 教員の行動

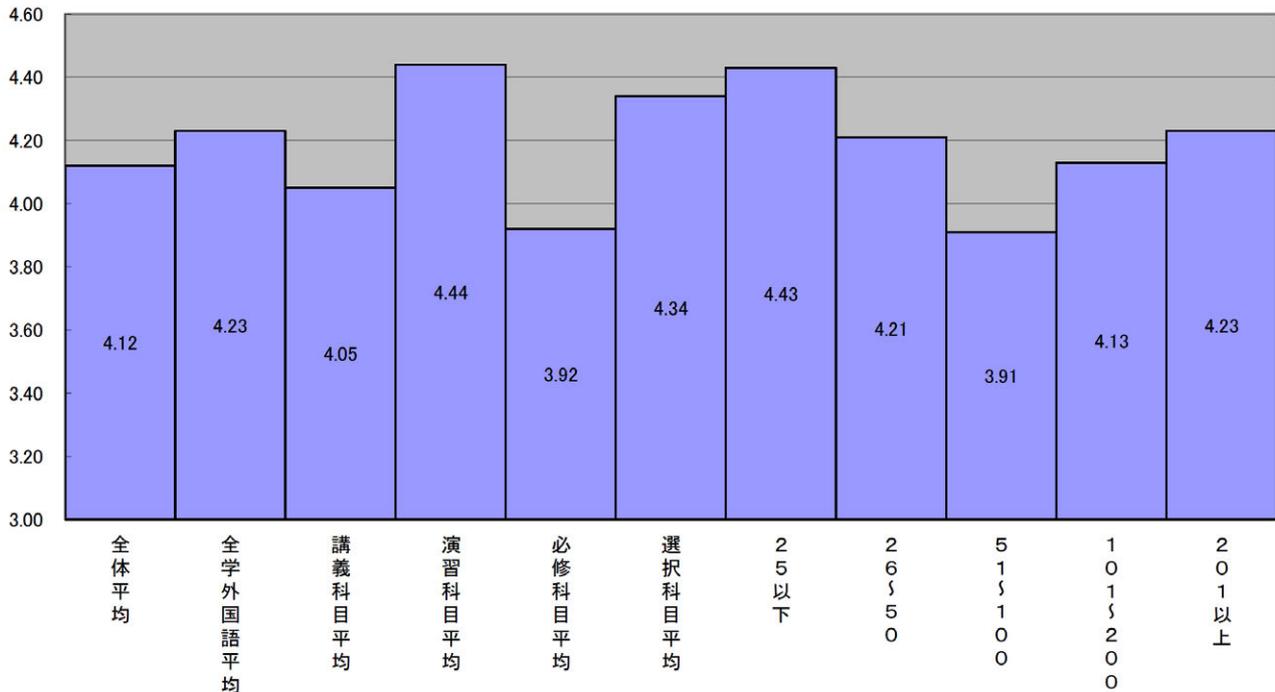
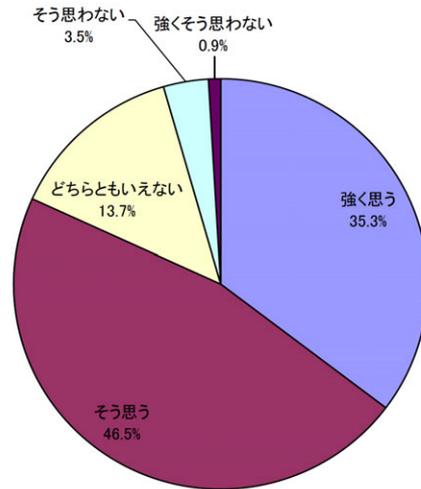
設問5 教員の説明はわかりやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	74.4%	75.9%	74.2%	75.7%	78.8%	7.7%	7.7%	8.6%	8.4%	7.6%
外国語	86.3%	88.1%	84.8%	81.1%	85.2%	2.8%	2.8%	3.7%	5.8%	4.4%
講義科目	71.6%	73.4%	72.5%	73.7%	76.5%	8.7%	8.6%	9.4%	9.2%	8.5%
演習科目	89.5%	90.2%	89.0%	86.7%	90.3%	1.9%	2.1%	2.4%	3.9%	2.7%
必修科目	68.0%	71.0%	68.3%	68.6%	72.0%	11.2%	10.5%	12.1%	11.8%	11.1%
選択科目	80.7%	79.1%	78.4%	83.1%	86.7%	4.2%	5.7%	6.2%	4.7%	3.4%



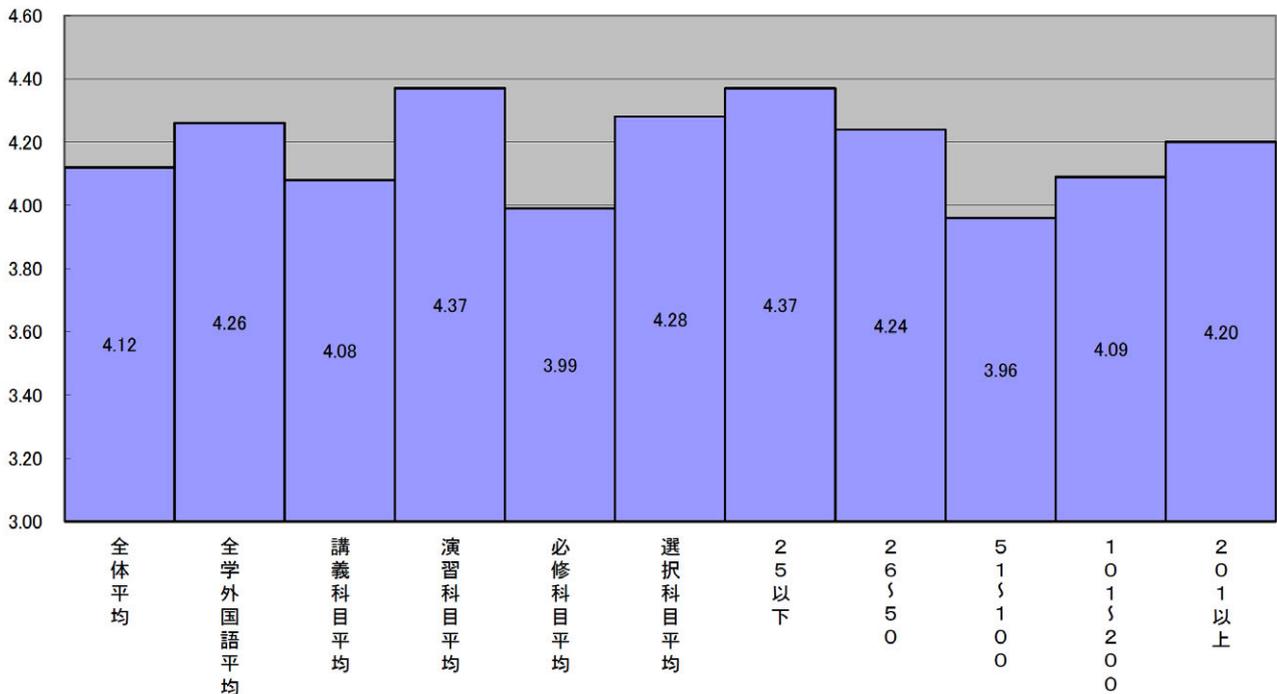
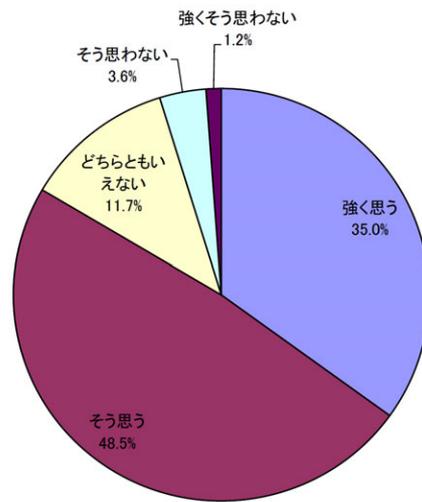
設問6 教員の熱意が伝わってきた。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	78.8%	81.3%	81.1%	79.9%	81.8%	4.4%	4.3%	4.3%	5.0%	4.5%
外国語	88.4%	90.2%	88.6%	85.3%	86.4%	1.4%	1.6%	1.7%	3.6%	3.1%
講義科目	76.7%	79.5%	79.8%	78.0%	79.5%	4.9%	4.8%	4.7%	5.6%	5.2%
演習科目	90.0%	91.1%	92.6%	90.6%	93.6%	1.6%	1.6%	1.0%	1.6%	1.0%
必修科目	73.2%	75.8%	75.8%	73.6%	73.9%	6.3%	6.4%	6.3%	7.3%	6.9%
選択科目	84.3%	84.8%	84.9%	86.6%	91.0%	2.5%	3.0%	2.8%	2.6%	1.7%



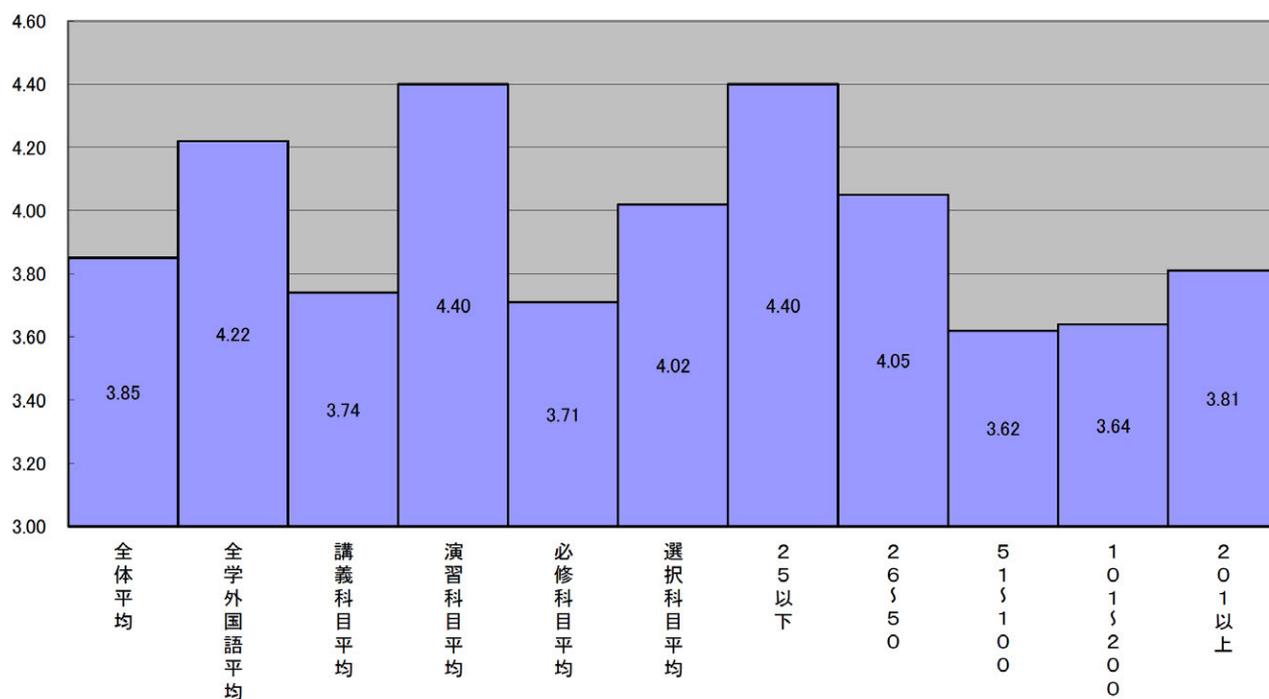
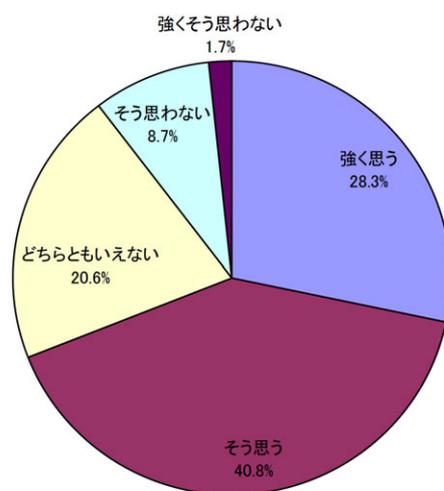
設問7 教員の話し方は聞き取りやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	77.7%	79.0%	78.5%	80.9%	83.5%	6.1%	6.5%	7.0%	5.4%	4.8%
外国語	87.7%	89.0%	86.0%	84.1%	87.6%	2.8%	2.5%	3.7%	4.1%	2.7%
講義科目	75.2%	76.9%	77.2%	79.4%	81.9%	7.0%	7.3%	7.6%	5.9%	5.3%
演習科目	91.2%	91.0%	89.8%	88.7%	91.4%	1.3%	1.9%	2.4%	2.7%	2.4%
必修科目	72.2%	74.0%	73.3%	76.0%	78.4%	9.0%	9.4%	10.1%	7.4%	6.9%
選択科目	83.1%	82.3%	82.2%	85.8%	89.4%	3.1%	4.5%	4.8%	3.4%	2.4%



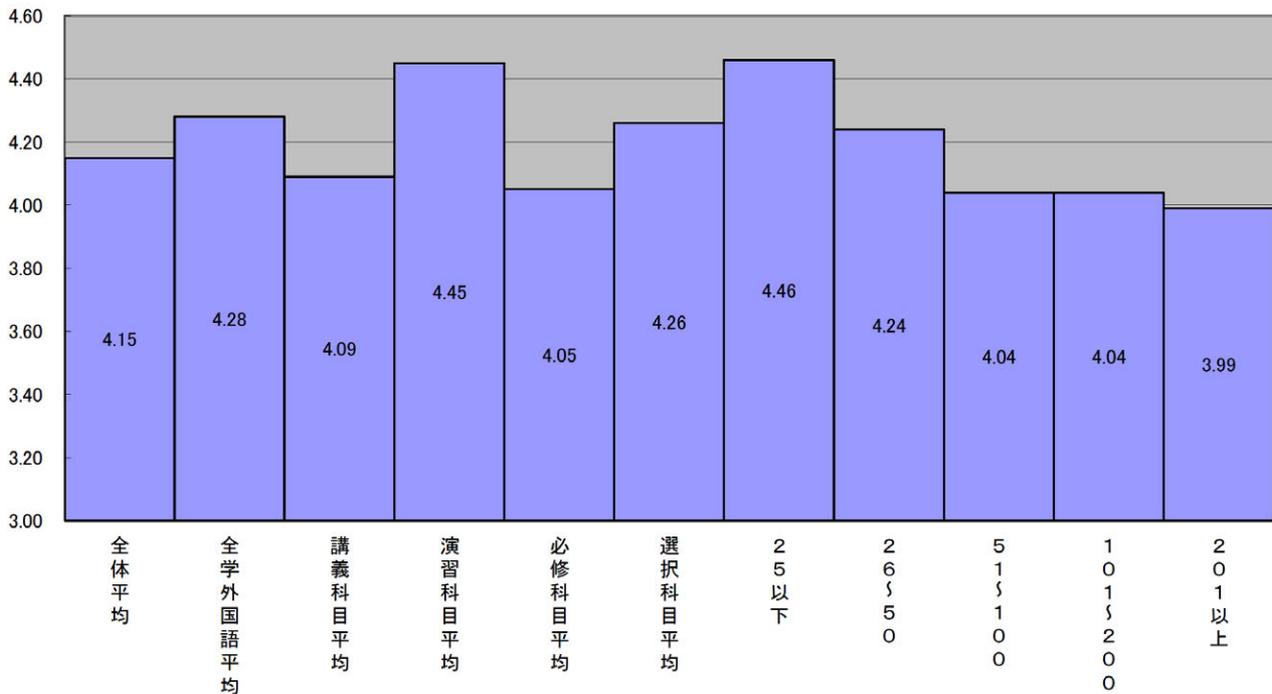
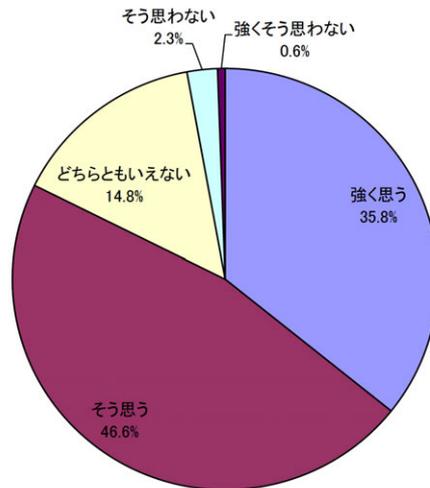
設問8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	65.1%	66.4%	65.2%	65.4%	69.0%	9.7%	10.4%	11.1%	11.7%	10.4%
外国語	89.7%	90.8%	89.4%	84.4%	85.0%	1.5%	1.4%	2.0%	4.6%	4.7%
講義科目	60.7%	62.1%	62.2%	60.9%	64.4%	11.1%	11.9%	12.2%	13.4%	12.1%
演習科目	89.0%	90.9%	91.5%	88.8%	91.7%	2.0%	1.9%	1.5%	2.9%	2.1%
必修科目	61.6%	65.2%	65.1%	62.3%	63.2%	11.1%	11.9%	11.8%	13.3%	13.1%
選択科目	68.5%	67.2%	65.3%	68.5%	75.8%	8.3%	9.4%	10.5%	10.1%	7.3%



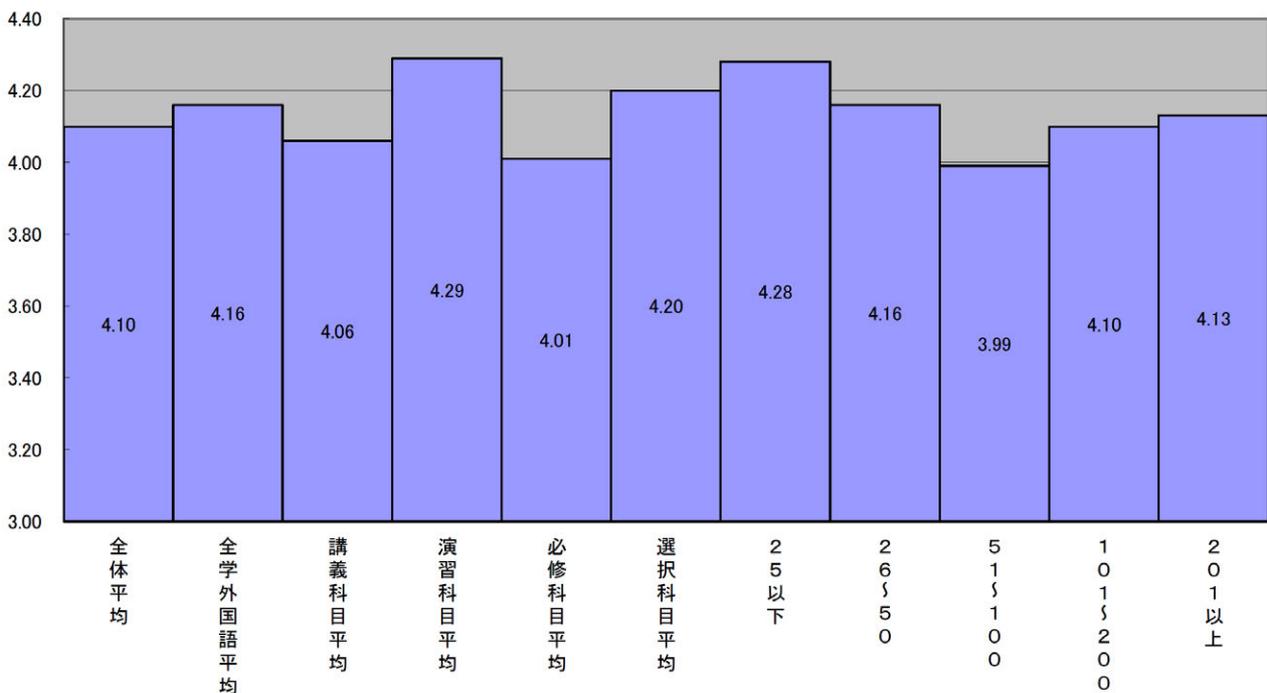
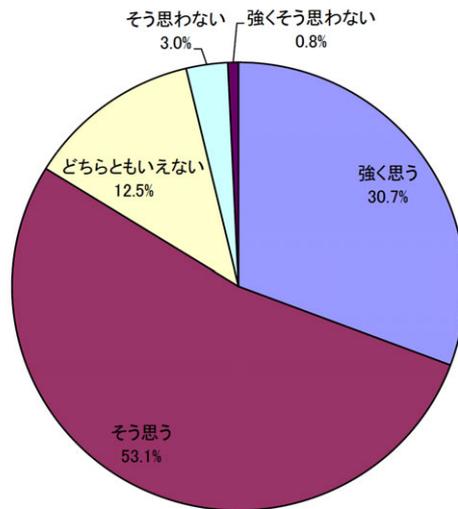
設問9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	79.1%	79.0%	77.6%	79.2%	82.3%	2.6%	2.8%	3.5%	4.2%	2.9%
外国語	91.7%	92.4%	91.0%	84.9%	87.3%	0.8%	1.0%	1.2%	4.2%	1.9%
講義科目	76.5%	76.4%	75.7%	76.8%	80.1%	2.9%	3.2%	3.8%	4.6%	3.2%
演習科目	93.2%	93.7%	94.1%	91.7%	93.3%	1.0%	0.8%	0.7%	1.7%	1.1%
必修科目	77.1%	79.1%	78.1%	75.6%	78.5%	3.2%	3.2%	4.1%	5.5%	3.7%
選択科目	81.0%	78.9%	77.3%	82.8%	86.7%	2.0%	2.6%	3.1%	2.9%	2.0%

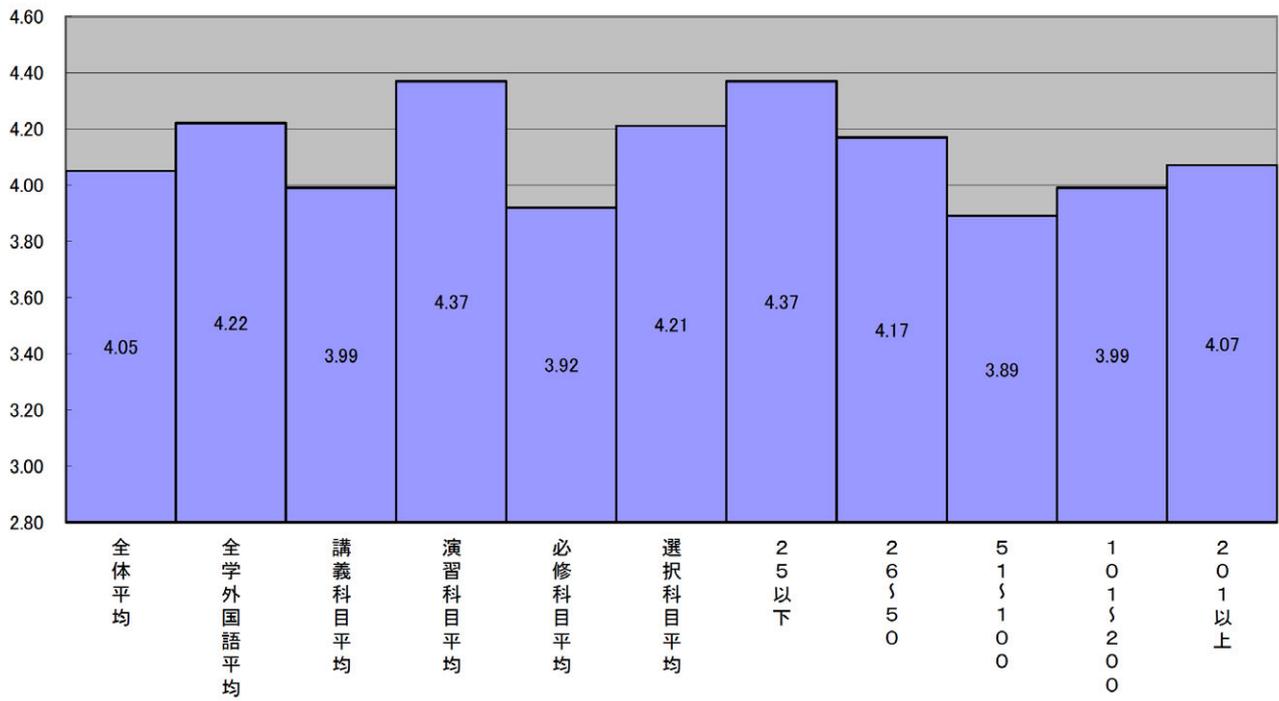


設問10 黒板, 教科書, プリントやAV機器等の使い方が効果的であった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	79.3%	80.9%	81.7%	79.9%	83.8%	4.4%	4.8%	4.6%	5.1%	3.7%
外国語	84.4%	85.1%	85.2%	81.9%	85.8%	2.3%	2.2%	2.4%	3.7%	2.7%
講義科目	77.7%	79.6%	81.0%	78.7%	82.8%	5.0%	5.4%	5.0%	5.6%	4.1%
演習科目	87.8%	88.9%	88.2%	86.7%	89.1%	1.4%	1.4%	1.7%	2.2%	1.7%
必修科目	75.1%	77.7%	78.7%	76.7%	80.6%	6.1%	5.5%	5.6%	6.5%	5.1%
選択科目	83.5%	83.1%	83.9%	83.4%	87.5%	2.7%	4.4%	4.0%	3.6%	2.2%



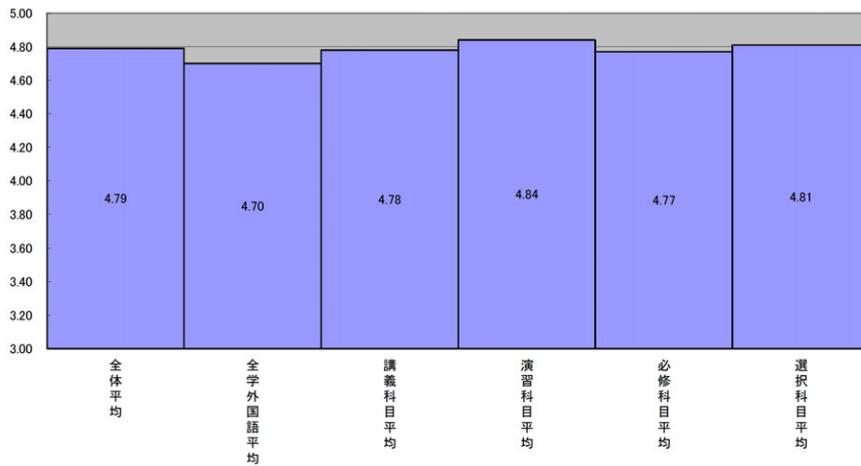
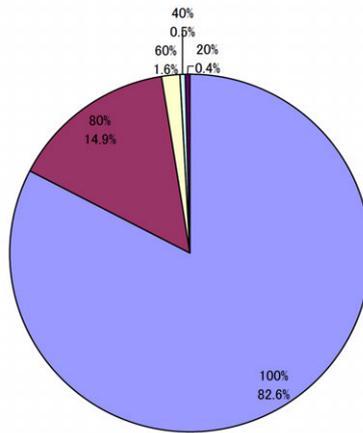
【設問5～10の合計】



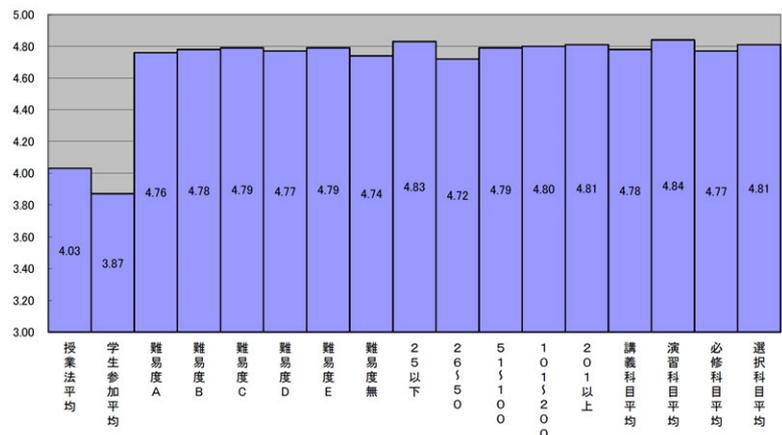
C 学生の行動に関する項目

設問 11 この授業の自分の出席率は () %程度であった。

	80%と100%の合計					20, 40, 60%の合計				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	92.9%	94.8%	96.7%	98.0%	97.5%	7.1%	5.2%	3.3%	2.0%	2.5%
外国語	96.3%	96.9%	97.3%	95.6%	95.2%	3.7%	3.1%	2.7%	4.4%	4.8%
講義科目	92.3%	94.4%	96.4%	97.7%	97.1%	7.7%	5.7%	3.6%	2.3%	2.9%
演習科目	96.4%	97.1%	99.1%	99.2%	99.3%	3.6%	2.9%	0.9%	0.8%	0.7%
必修科目	93.2%	94.5%	96.5%	97.2%	96.7%	6.8%	5.6%	3.5%	2.8%	3.3%
選択科目	92.7%	95.0%	96.8%	98.7%	98.4%	7.3%	5.0%	3.2%	1.3%	1.6%

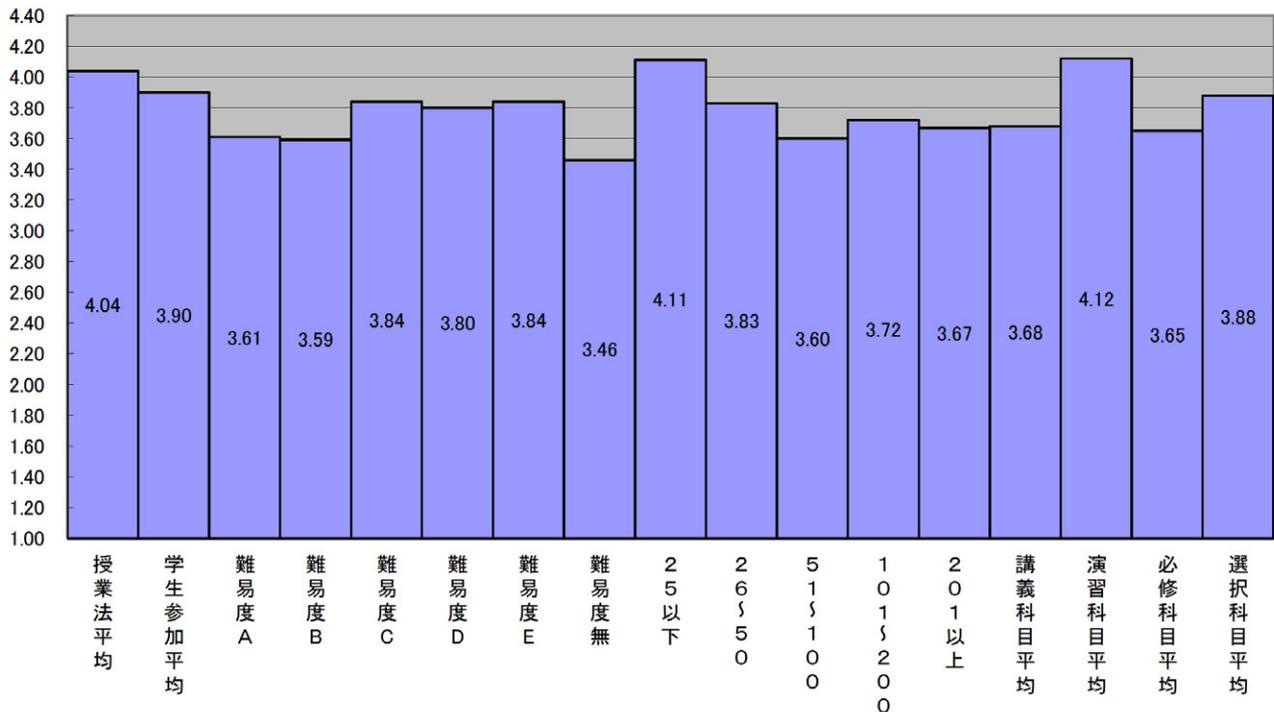
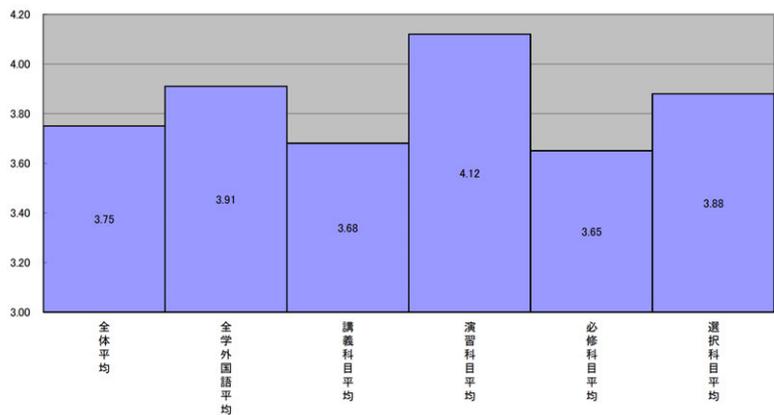
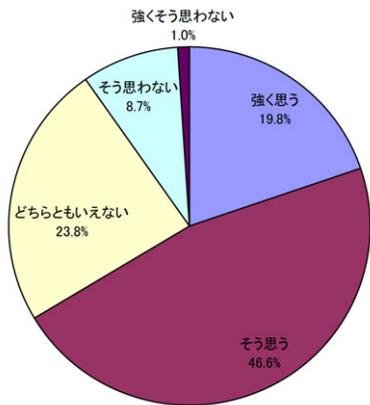


※右図において、「授業法平均」は設問5, 6, 7について集計した結果であり、「学生参加平均」は設問8, 9について集計した結果である。「難易度A」については、設問4において、「A:きわめて難しい」と答えた学生が本設問11でどのように回答したのかを評点の平均値で表している(他の難易度も同様「難易度無」は無回答)。さらに、「受講登録学生数」毎の本設問の評点の平均を示し、「講義科目平均」、「演習科目平均」、「必修科目平均」、「選択科目平均」については、上図の棒グラフと情報は重なるが比較のために示した。(続く、設問12, 13のグラフも同様)



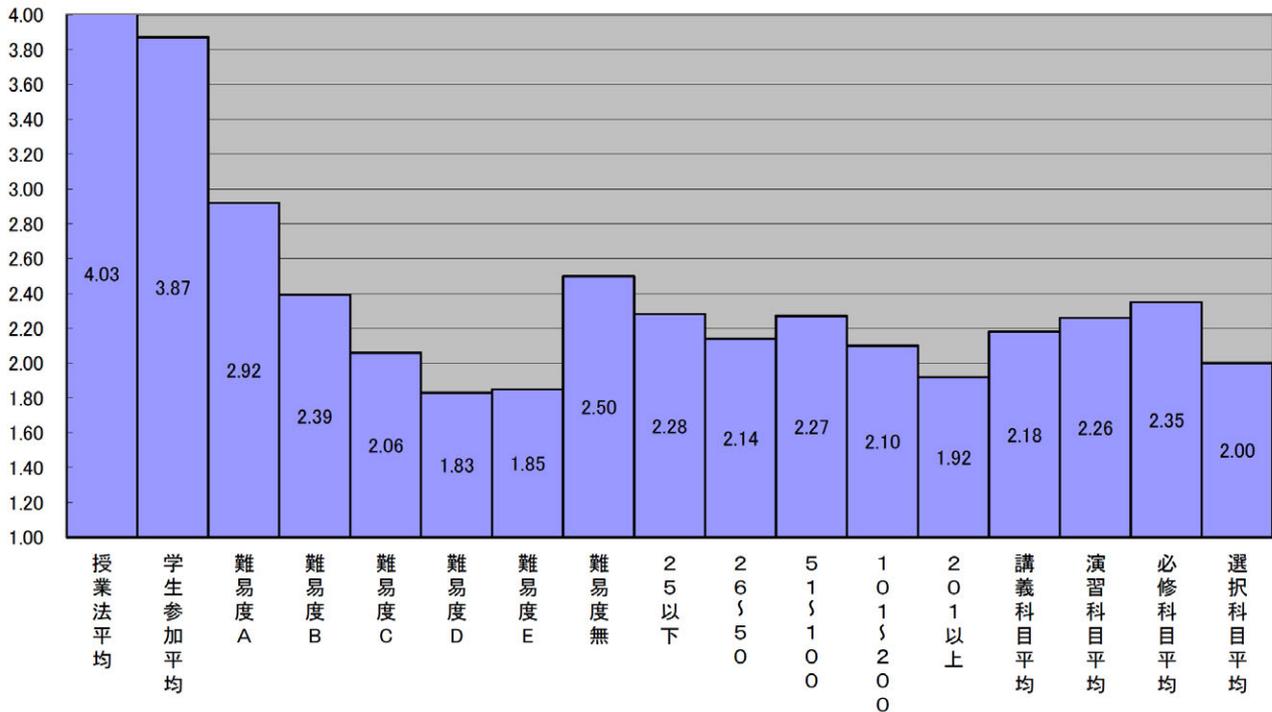
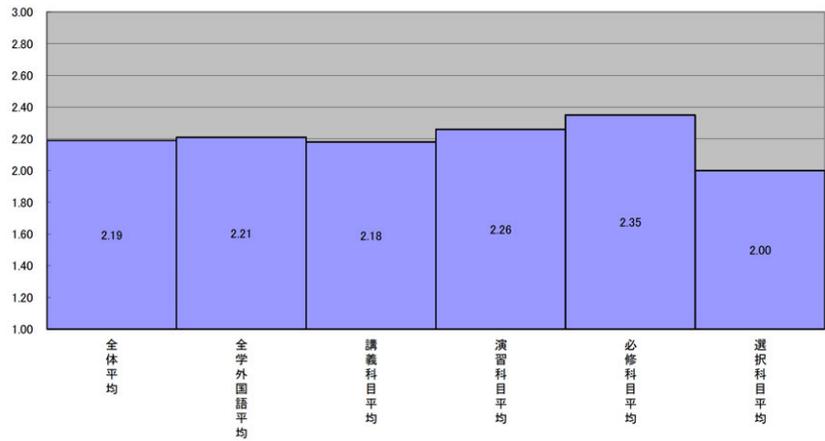
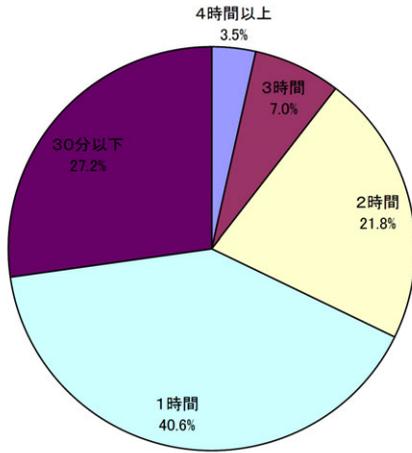
設問 12 質問, 発言, 調査, 自習などにより, 自分はこの授業に積極的に参加した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	57.0%	59.4%	62.4%	66.8%	66.4%	11.2%	11.0%	9.9%	9.3%	9.7%
外国語	74.4%	75.4%	75.7%	74.8%	75.1%	4.1%	5.1%	5.2%	7.0%	7.7%
講義科目	52.8%	55.5%	60.3%	63.8%	63.0%	12.6%	12.3%	10.7%	10.3%	11.0%
演習科目	79.7%	81.2%	80.6%	82.8%	83.7%	3.3%	3.7%	3.3%	3.6%	3.6%
必修科目	54.3%	57.7%	62.2%	63.6%	61.7%	12.3%	11.2%	10.4%	10.7%	11.7%
選択科目	59.7%	60.5%	62.6%	70.1%	71.9%	10.1%	10.8%	9.7%	7.7%	7.5%



設問 13 この授業 1 回 (90 分) のための予習・復習に費やした時間は平均 () であった。

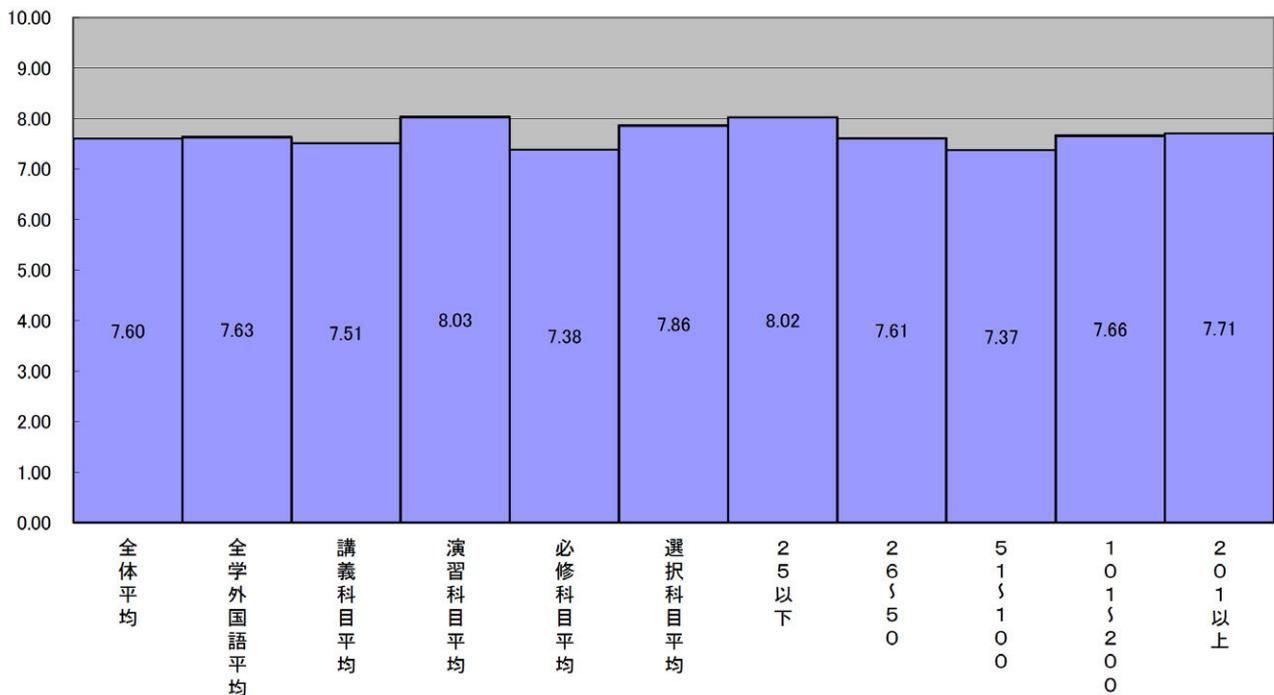
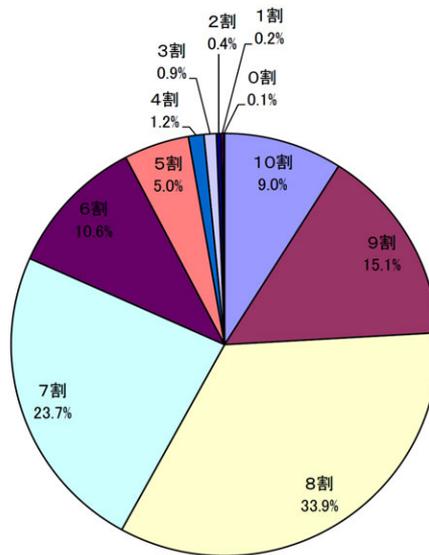
	3時間以上					1時間以下				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	15.3%	12.7%	7.9%	16.2%	10.4%	65.8%	70.6%	78.5%	58.5%	67.8%
外国語	13.6%	10.0%	7.5%	13.0%	9.2%	64.3%	69.3%	74.2%	60.3%	68.3%
講義科目	14.6%	12.3%	7.8%	16.2%	10.1%	66.9%	71.4%	78.9%	58.6%	68.1%
演習科目	19.1%	14.9%	8.3%	16.2%	12.1%	60.2%	66.4%	75.3%	58.4%	66.4%
必修科目	17.8%	17.2%	10.1%	20.6%	12.6%	60.1%	61.6%	73.1%	49.3%	62.0%
選択科目	12.8%	9.8%	6.3%	11.5%	7.9%	71.5%	76.6%	82.4%	68.2%	74.6%



D 教育効果

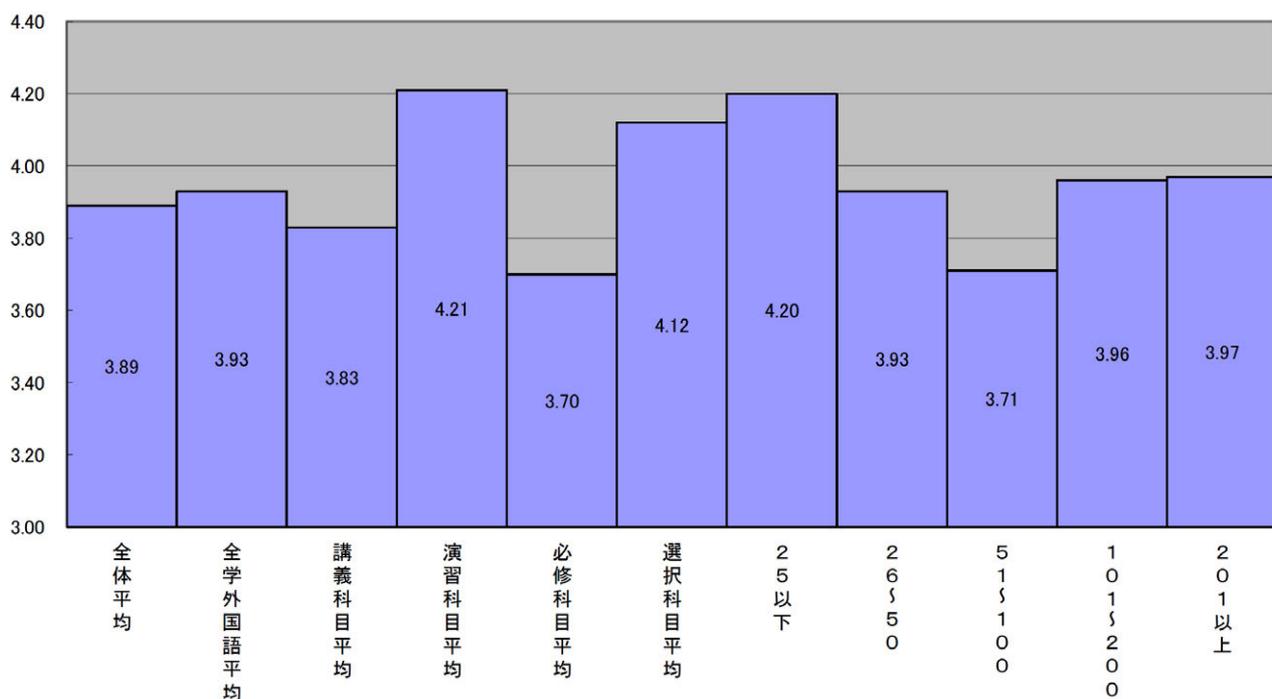
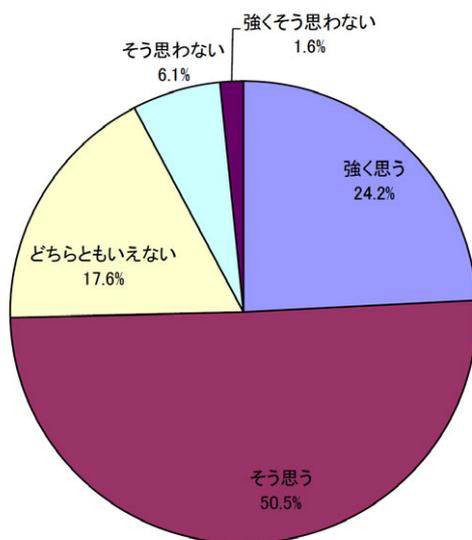
設問 14 私はシラバスの到達目標を () 割程度達成できた。

	8割以上					5割以下				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	49.2%	49.9%	54.9%	59.0%	58.0%	15.5%	14.4%	10.3%	7.3%	7.7%
外国語	59.7%	58.7%	61.9%	59.9%	59.1%	7.8%	8.3%	6.4%	8.0%	7.3%
講義科目	45.9%	47.0%	53.3%	57.1%	55.4%	17.3%	15.8%	11.0%	7.8%	8.6%
演習科目	67.0%	66.5%	68.6%	69.2%	71.4%	5.5%	6.0%	4.2%	4.3%	2.9%
必修科目	44.8%	44.8%	52.8%	52.9%	51.3%	19.3%	18.4%	12.1%	9.5%	10.5%
選択科目	53.5%	53.2%	56.4%	65.4%	65.9%	11.7%	11.7%	9.1%	5.0%	4.4%



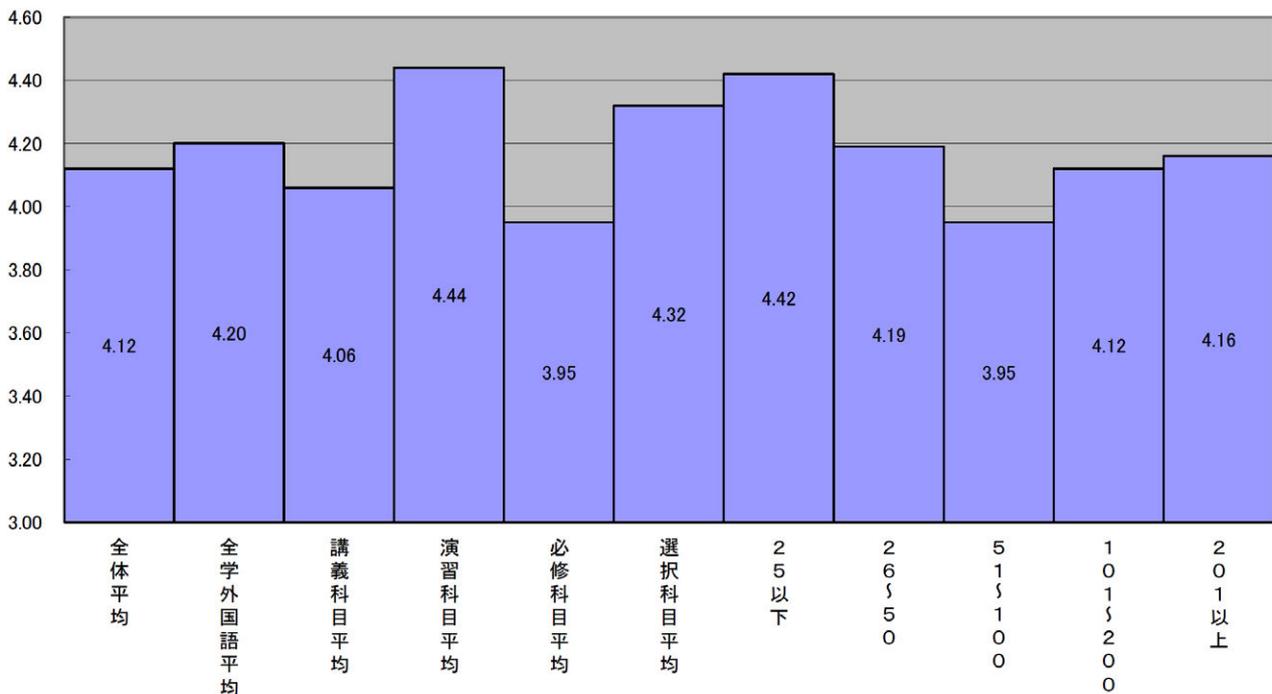
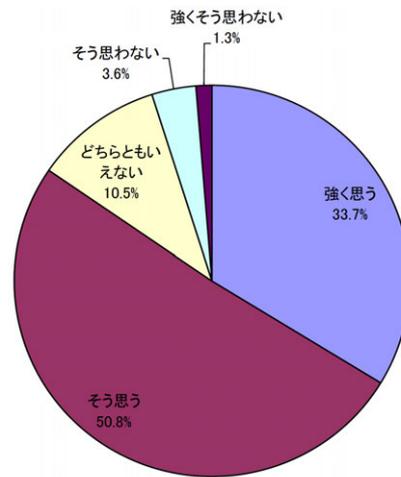
設問 15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	68.2%	69.1%	70.5%	74.4%	74.6%	9.0%	8.9%	8.5%	8.0%	7.7%
外国語	76.9%	77.1%	77.3%	74.8%	76.8%	4.6%	5.4%	5.1%	7.8%	6.3%
講義科目	65.7%	66.4%	68.7%	72.3%	72.0%	10.0%	9.9%	9.3%	8.9%	8.8%
演習科目	82.3%	84.5%	86.3%	86.1%	87.9%	3.5%	3.4%	2.3%	3.4%	2.4%
必修科目	60.6%	62.1%	65.2%	66.2%	66.1%	12.7%	11.7%	11.0%	11.6%	11.2%
選択科目	75.8%	73.7%	74.2%	83.0%	84.7%	5.4%	7.1%	6.8%	4.3%	3.7%

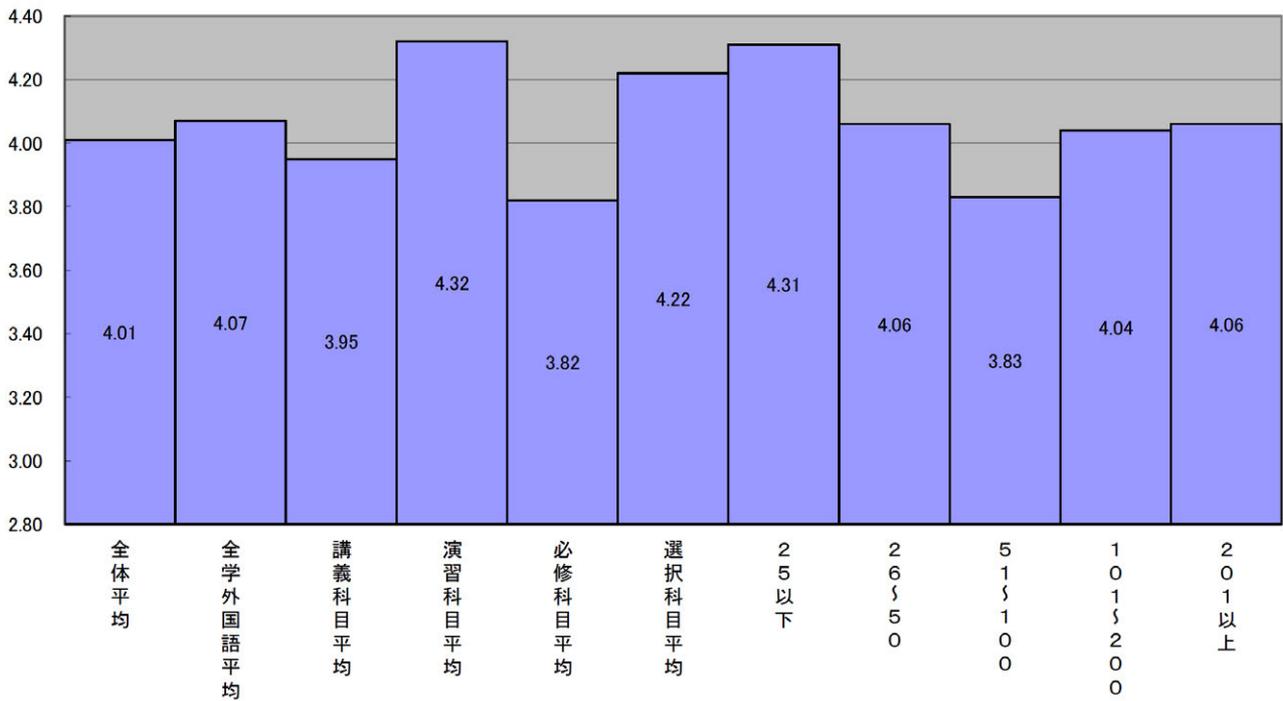


設問 16 授業は全体として満足できるものであった。

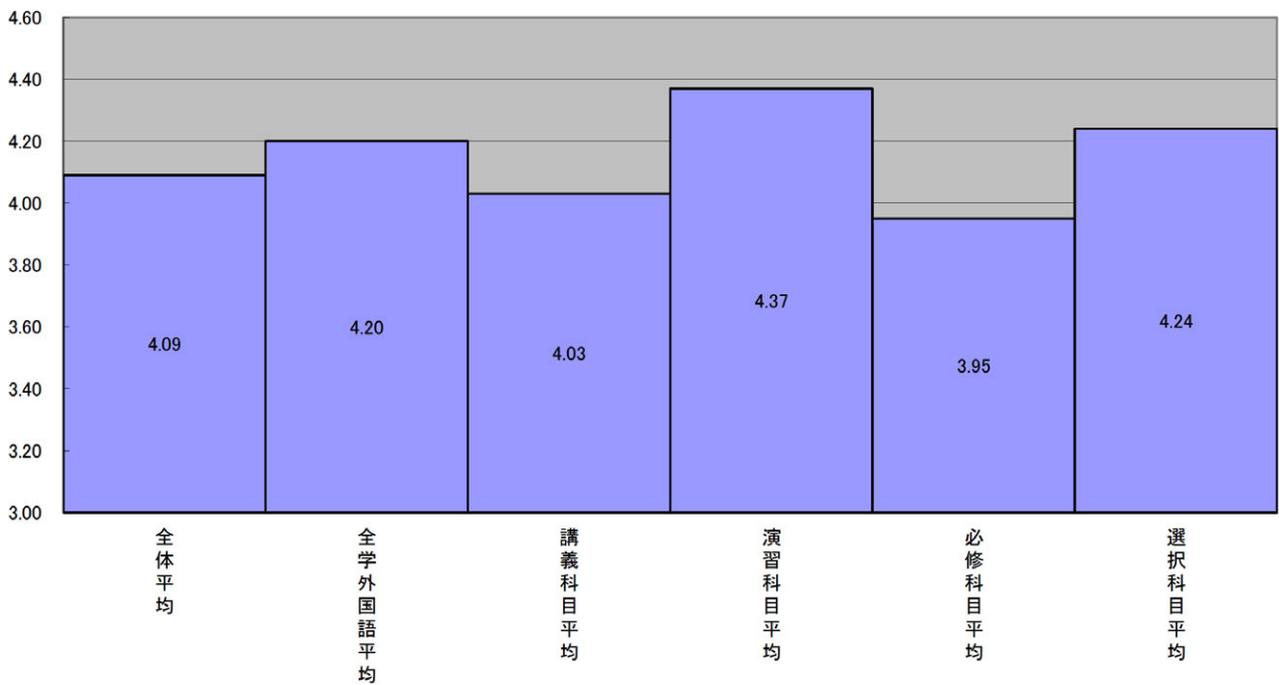
	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	29前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後
全学教育全体	75.9%	78.4%	79.2%	82.5%	84.6%	6.4%	5.6%	5.8%	6.1%	4.9%
外国語	87.9%	88.8%	87.8%	84.1%	87.1%	2.0%	2.1%	2.6%	6.1%	3.9%
講義科目	73.3%	76.1%	77.6%	80.8%	82.7%	7.2%	6.4%	6.3%	6.6%	5.6%
演習科目	90.1%	91.6%	93.1%	91.6%	93.9%	2.1%	1.4%	1.3%	2.9%	1.6%
必修科目	69.0%	72.7%	74.5%	75.9%	78.5%	9.2%	8.0%	7.7%	8.9%	7.3%
選択科目	82.8%	82.2%	82.6%	89.4%	91.7%	3.6%	4.1%	4.5%	3.1%	2.1%



【設問15～16の合計】



【設問1、2、5、6、7、8、9、10、15、16合計の平均値】



7. 総合評点の度数分布

教員各自の総合評価の位置づけを知るために、度数分布と順位を示した。すなわち、評価を受けた全学教育科目の総合評点度数分布、最高値と最低値、該当科目数のうちの順位、たとえば、評価を受けた科目全体の数 ○○中 ○位 として、位置づけを明確にしている。また、教員の所属部局を文系・理系に分け、「アンケート実施科目全体」、「文系」または「理系」、並びに「当該科目区分」（第2章に記載した8科目区分）のそれぞれについて、総合評点の度数分布と順位を示した。

度数の幅は評点平均 0.1でグラフとしている。幅の取り方と関連して、多少の凹凸があるが、いくつかの科目区分を除き、全体的にはおおむね正規分布のグラフとなっている。

〈所属部局による文系・理系区分〉 ※非常勤講師は除く

〈文系部局〉

文学研究院	学生相談総合センター
教育学研究院	スラブ・ユーラシア研究センター
法学研究科	観光学高等研究センター
経済学研究院	アイヌ・先住民研究センター
メディア・コミュニケーション研究院	高等教育推進機構
公共政策学連携研究部	人材育成本部

〈理系部局〉

理学研究院	先端生命科学研究院
医学研究院	低温科学研究所
歯学研究院	電子科学研究所
薬学研究院	遺伝子病制御研究所
工学研究院	触媒科学研究所
農学研究院	情報基盤センター
獣医学研究院	総合博物館
水産科学研究院	北方生物圏フィールド科学センター
保健科学研究院	保健センター
情報科学研究院	数理・データサイエンス教育研究センター
地球環境科学研究院	人獣共通感染症リサーチセンター

「令和3年度授業アンケート」 評点平均の度数分布図①

評点平均の度数分布図①（全学教育科目）

「令和3年度（第1学期及び第2学期通年分）全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部 局 名：○○○○○
授業形態：演習

氏 名：○○ ○○
科目区分：全学教育科目（一般教育演習）

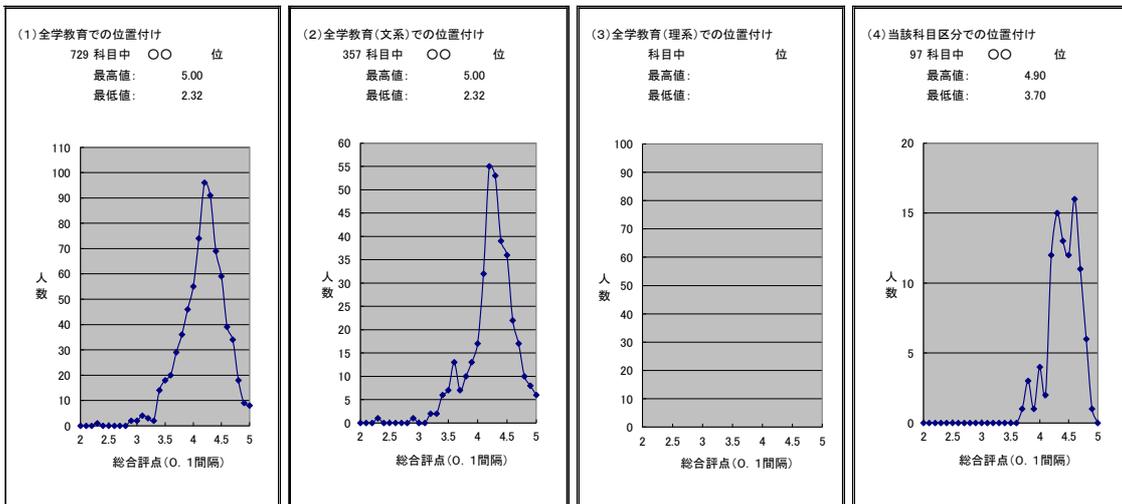
科目名：○○○○○
必修・選択：選択

回答人数：○○

登録学生数：25人以下

1. あなたの総合評点： ○.○○

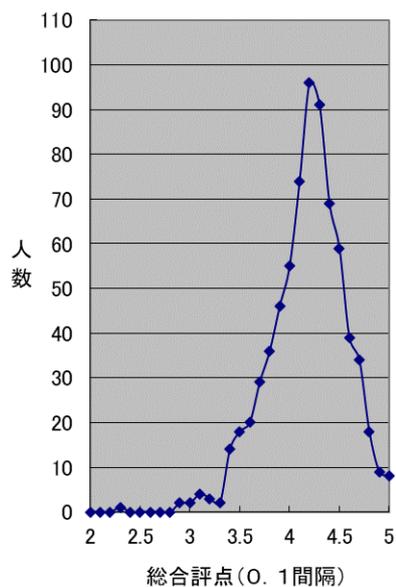
2. 総合評点の順位



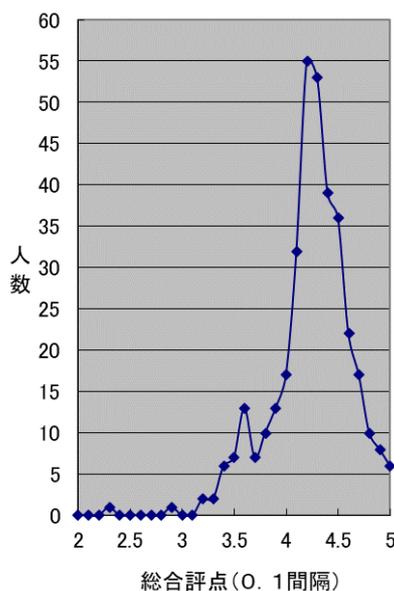
文系部局：文学研究科・文学部、教育学研究院、教育学部、法学研究科・法学部、経済学研究科・経済学部、メディア・コミュニケーション研究院、公共政策学連携研究部、スラブ研究センター、国際本部留学生センター、高等教育推進機構
 大学文書館、観光学高等研究センター、外国語教育センター、アイヌ・先住民研究センター、社会科学実験研究センター、情報法政策学研究センター
 理系部局：理学研究科・理学部、医学研究科・医学部、歯学研究科・歯学部、薬学研究科・薬学部、工学研究院・工学部、農学研究院・農学部、獣医学研究院・獣医学部、水産科学研究院・水産学部、情報科学研究院、地球環境科学研究院、先端生命科学研究院、保健科学研究院、低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒化学研究センター、情報基盤センター、アイソトープ総合センター、総合博物館、量子集積エレクトロニクス研究センター、北方生物圏フィールド科学センター、創成研究機構、人獣共通感染症リサーチセンター、環境テクノ・バイオ工学研究センター、数学連携研究センター、サステイナビリティー教育研究センター、トポロジ理工学教育研究センター、保健センター、環境健康科学教育研究センター

全学教育における度数分布図

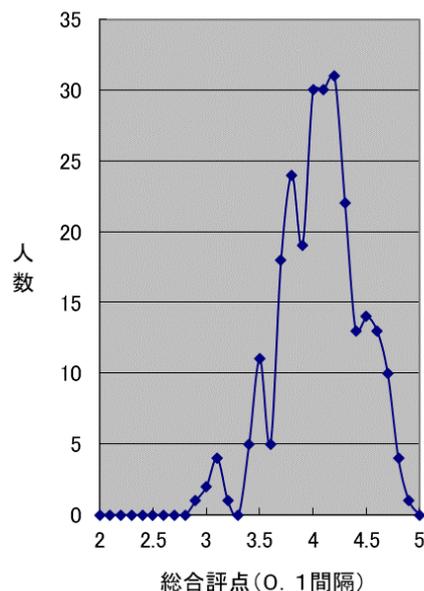
全学



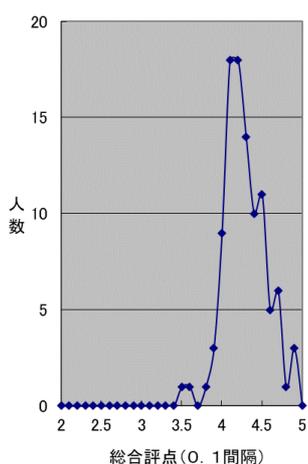
全学 (文系)



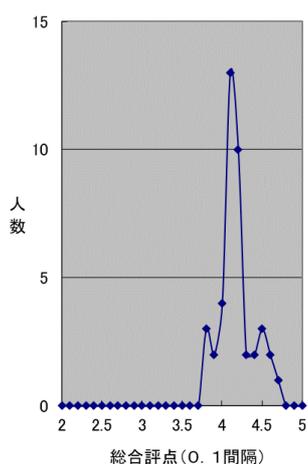
全学 (理系)



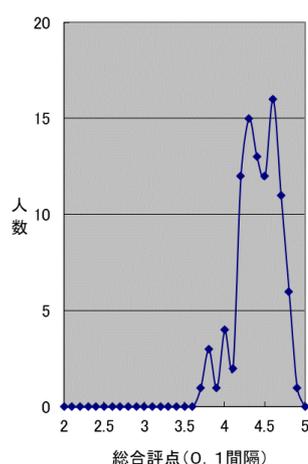
主題別科目



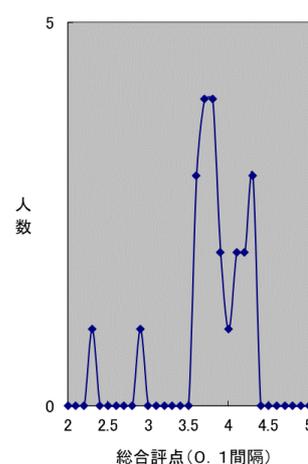
総合科目



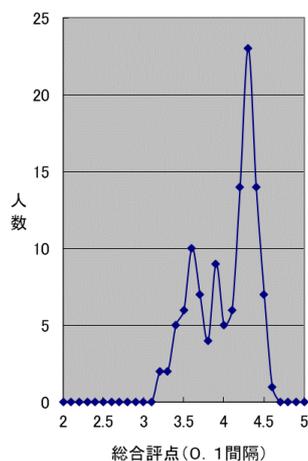
一般教育演習



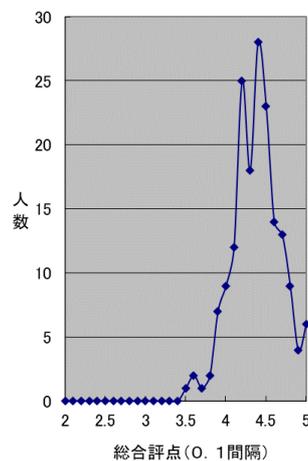
共通科目



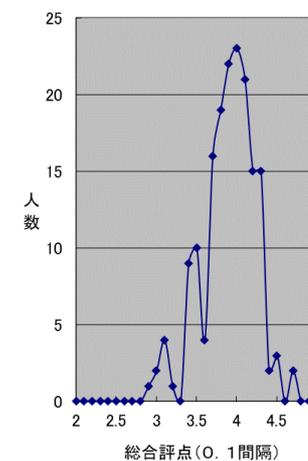
外国語科目



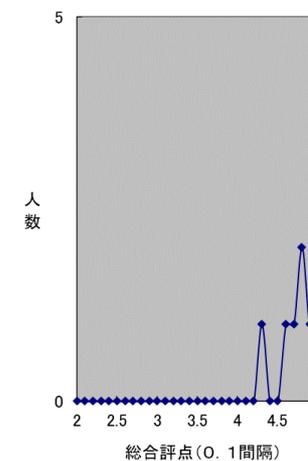
外国語演習



基礎科目



日本語に関する科目



C 受講生の行動(1)

		全体	外国語	講義	演習	必修	選択
		平均	平均	科目平均	科目平均	科目平均	科目平均
11 この授業の自分の出席率は()%程度であった。	100	82.60	78.19	82.14	84.92	82.64	82.55
	80	14.88	17.03	14.98	14.37	14.06	15.84
	60	1.64	2.30	1.85	0.55	1.88	1.36
	40	0.46	1.24	0.54	0.08	0.75	0.13
	20	0.42	1.24	0.49	0.08	0.67	0.13
	無回答	0.61	0.86	0.58	0.78	0.67	0.54
	平均値	4.79	4.70	4.78	4.84	4.77	4.81
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	19.78	24.69	17.30	32.27	16.42	23.70
	4	46.63	50.38	45.69	51.40	45.28	48.21
	3	23.84	17.25	26.05	12.69	26.59	20.64
	2	8.70	6.73	9.78	3.28	10.29	6.85
	1	1.04	0.95	1.18	0.36	1.41	0.61
	無回答	1.95	1.66	2.10	1.21	2.21	1.65
	平均値	3.75	3.91	3.68	4.12	3.65	3.88
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。	4H以上	3.48	2.62	3.37	4.03	4.33	2.48
	3H	6.95	6.56	6.73	8.06	8.28	5.40
	2H	21.77	22.52	21.82	21.52	25.42	17.48
	1H	40.56	45.94	40.23	42.25	41.81	39.09
	30分以下	27.24	22.36	27.86	24.11	20.16	35.54
	無回答	0.62	0.78	0.60	0.70	0.62	0.61
	平均値	2.19	2.21	2.18	2.26	2.35	2.00
設問11~13の合計	5	35.36	35.18	34.36	40.42	34.55	36.30
	4	22.71	24.58	22.35	24.57	22.42	23.06
	3	15.71	14.02	16.53	11.59	17.92	13.13
	2	16.61	18.01	16.88	15.23	17.66	15.38
	1	9.61	8.21	9.88	8.20	7.45	12.13
	無回答	1.06	1.10	1.09	0.90	1.16	0.93
	平均値	3.58	3.61	3.54	3.74	3.59	3.56

C 受講生の行動(2)

	授業法	学生参加平均	難易度						クラスサイズ(人)					
			A	B	C	D	E	無回答	25以下	26~50	51~100	101~200	201以上	
														平均
11 この授業の自分の出席率は()%程度であった。	5	4.05	3.90	82.29	81.93	82.94	82.51	82.72	80.65	84.42	79.13	83.37	82.31	83.05
	4	3.99	3.83	13.89	15.24	14.84	14.48	16.05	12.90	14.78	16.64	13.80	15.65	14.97
	3	3.60	3.34	2.31	2.04	1.42	1.37	0.00	6.45	0.68	2.02	1.88	1.61	1.69
	2	2.96	2.78	0.69	0.54	0.37	1.09	0.00	0.00	0.08	1.03	0.49	0.31	0.29
	1	2.95	2.78	0.81	0.26	0.44	0.55	1.23	0.00	0.04	1.18	0.47	0.12	0.00
	無回答	0.77	0.68	0.35	0.02	0.13	0.14	1.22	71.30	0.75	0.69	0.56	0.54	0.51
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	4.51	4.48	23.56	13.28	21.90	24.76	28.75	17.86	32.04	22.27	14.88	18.29	15.87
	4	4.07	3.95	32.78	46.66	48.32	41.77	41.25	32.14	51.47	48.39	44.34	45.54	46.13
	3	3.81	3.56	27.87	27.46	21.99	22.68	17.50	32.14	12.75	20.86	27.85	26.70	27.94
	2	3.56	3.31	12.68	11.42	7.00	10.10	10.00	14.29	3.44	7.37	11.47	8.54	9.46
	1	3.04	2.83	3.11	1.19	0.80	0.69	2.50	3.57	0.31	1.11	1.47	0.94	0.60
	無回答	2.53	1.61	3.58	1.50	1.23	1.36	2.44	74.07	1.24	1.53	2.25	2.33	2.04
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均()であった。	5	3.87	3.93	16.53	4.78	1.92	0.55	3.66	6.67	3.99	2.39	3.34	5.62	1.25
	4	3.88	3.90	15.38	9.43	5.26	4.38	7.32	10.00	8.69	5.36	7.78	6.65	3.60
	3	4.00	3.90	26.71	25.65	20.21	14.50	8.54	33.33	21.91	22.39	24.21	16.92	18.44
	2	4.07	3.91	26.13	39.84	42.44	38.99	31.71	26.67	42.14	43.82	41.60	33.54	39.68
	1	4.04	3.78	15.26	20.30	30.16	41.59	48.78	23.33	23.27	26.06	23.08	37.27	37.03
	無回答	0.67	0.61	0.23	0.05	0.13	0.27	0.00	72.22	0.68	0.58	0.61	0.57	0.66
設問11~13の合計	5	4.13	4.01	40.97	33.43	35.64	36.00	38.27	35.96	40.15	34.62	33.97	35.51	33.50
	4	4.03	3.92	20.55	23.66	22.71	20.13	21.40	17.98	24.93	23.39	21.85	22.48	21.45
	3	3.89	3.71	18.87	18.34	14.51	12.81	8.64	23.60	11.78	15.07	17.92	15.01	15.96
	2	3.97	3.80	13.18	17.29	16.64	16.74	13.99	13.48	15.24	17.44	17.88	14.16	16.50
	1	3.99	3.73	6.43	7.28	10.50	14.32	17.70	8.99	7.89	9.48	8.37	12.84	12.59
	無回答	1.83	1.24	1.38	0.52	0.49	0.59	1.22	72.53	0.89	0.94	1.14	1.15	1.07

D 教育効果(1)

		全体	外国語	講義	演習	必修	選択
		平均	平均	科目平均	科目平均	科目平均	科目平均
14 シラバスに記載されている到達目標は、() 割程度達成できた。	10	8.98	9.04	8.34	12.19	7.66	10.52
	9	15.13	16.15	13.99	20.95	12.63	18.06
	8	33.90	33.87	33.05	38.22	31.03	37.27
	7	23.68	23.86	24.46	19.72	25.10	22.03
	6	10.64	9.82	11.54	6.07	13.12	7.74
	5	4.95	4.63	5.53	2.01	6.57	3.05
	4	1.17	0.92	1.35	0.28	1.62	0.65
	3	0.93	1.06	1.05	0.32	1.38	0.41
	2	0.36	0.30	0.41	0.08	0.54	0.14
	1	0.16	0.16	0.16	0.12	0.17	0.14
	0	0.10	0.19	0.12	0.04	0.19	0.00
無回答	0.85	0.96	0.83	0.98	0.83	0.88	
平均値	7.60	7.63	7.51	8.03	7.38	7.86	

D 教育効果(2)

		授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25以下	26~50	51~100	101~200	201以上
				14 シラバスに記載されている到達目標は、() 割程度達成できた。	10	4.38	4.23	12.18	4.70	10.06	13.01	35.80	10.34	12.03
	9	4.26	4.08	7.19	10.06	17.19	26.44	22.22	17.24	20.37	16.05	12.78	15.05	13.94
	8	4.13	3.97	16.13	27.89	38.15	35.89	22.22	34.48	38.60	33.24	31.12	34.80	37.02
	7	3.95	3.78	17.29	29.02	22.58	16.44	9.88	13.79	20.21	24.62	24.11	24.87	24.34
	6	3.75	3.59	17.29	16.49	7.88	5.07	6.17	13.79	5.90	9.57	13.52	10.51	9.22
	5	3.53	3.38	15.78	7.73	3.00	1.78	0.00	6.90	1.98	4.38	6.99	4.16	4.13
	4	3.31	3.32	4.52	2.19	0.45	0.55	1.23	3.45	0.34	1.07	1.80	0.81	0.81
	3	3.06	3.03	5.45	1.27	0.40	0.55	1.23	0.00	0.30	1.21	1.33	0.50	0.59
	2	2.67	2.97	2.20	0.49	0.13	0.27	1.23	0.00	0.11	0.44	0.55	0.15	0.15
	1	2.86	2.83	1.04	0.12	0.11	0.00	0.00	0.00	0.11	0.18	0.19	0.12	0.07
	0	2.42	2.69	0.93	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.04	0.26	0.08	0.12	0.00
	無回答	1.58	1.51	0.58	0.26	0.36	0.41	1.22	73.15	0.94	0.88	0.85	0.65	1.02

D 教育効果(3)

		全体	外国語	講義	演習	必修	選択
		平均	平均	科目平均	科目平均	科目平均	科目平均
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	24.17	24.15	21.94	35.55	17.40	32.11
	4	50.46	52.66	50.10	52.33	48.66	52.58
	3	17.62	16.90	19.17	9.72	22.78	11.56
	2	6.13	4.91	6.95	1.97	8.65	3.18
	1	1.61	1.38	1.85	0.43	2.51	0.56
	無回答	1.03	1.23	1.01	1.09	1.03	1.02
	平均値	3.89	3.93	3.83	4.21	3.70	4.12
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	33.72	37.80	30.17	51.81	25.71	43.12
	4	50.83	49.30	52.54	42.12	52.76	48.57
	3	10.54	9.04	11.73	4.45	14.21	6.23
	2	3.62	2.98	4.09	1.22	5.37	1.56
	1	1.29	0.89	1.47	0.39	1.95	0.52
	無回答	0.86	0.96	0.86	0.86	0.88	0.84
平均値	4.12	4.20	4.06	4.44	3.95	4.32	
設問15~16の合計	5	28.95	30.98	26.06	43.69	21.56	37.62
	4	50.65	50.98	51.32	47.22	50.71	50.57
	3	14.07	12.96	15.45	7.08	18.49	8.89
	2	4.87	3.94	5.52	1.60	7.01	2.37
	1	1.45	1.14	1.66	0.41	2.23	0.54
	無回答	0.95	1.11	0.95	0.99	0.97	0.94
	平均値	4.01	4.07	3.93	4.32	3.82	4.22

D 教育効果(4)

		授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25以下	26~50	51~100	101~200	201以上
				15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	4.59	4.37	17.98	14.97	28.16	32.46	35.37	10.71	35.59
	4	4.07	3.89	26.57	50.51	52.95	47.46	34.15	64.29	52.32	51.09	48.47	50.56	54.46
	3	3.61	3.50	25.52	23.57	14.52	14.44	15.85	10.71	9.30	16.97	22.31	16.94	15.06
	2	3.18	3.17	16.47	9.33	3.80	4.81	12.20	10.71	2.17	5.46	8.77	5.13	5.09
	1	2.20	2.54	13.46	1.63	0.58	0.83	2.44	3.57	0.61	1.40	2.51	1.16	0.81
	無回答	1.93	1.82	0.58	0.56	0.47	0.82	0.00	74.07	1.06	1.09	1.01	0.92	1.09
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	4.62	4.38	17.32	20.02	40.59	42.72	46.34	20.69	51.16	36.73	26.10	31.97	31.86
	4	3.96	3.78	28.29	56.80	50.73	45.33	34.15	68.97	42.56	50.28	52.34	53.49	56.05
	3	3.25	3.25	25.87	16.16	6.84	8.24	7.32	3.45	4.34	9.39	14.14	10.49	8.55
	2	2.62	2.87	16.51	5.74	1.51	2.88	9.76	0.00	1.37	2.69	5.38	3.05	2.95
	1	1.64	2.09	12.01	1.27	0.34	0.82	2.44	6.90	0.57	0.92	2.05	1.00	0.59
	無回答	1.62	1.57	0.12	0.40	0.34	0.68	0.00	73.15	0.87	0.88	0.82	0.84	1.02
設問15~16の合計	5	4.61	4.37	17.65	17.50	34.38	37.59	40.85	15.79	43.38	30.91	22.03	29.09	28.22
	4	4.02	3.84	27.43	53.66	51.84	46.39	34.15	66.67	47.44	50.68	50.41	52.03	55.26
	3	3.47	3.41	25.69	19.86	10.68	11.34	11.59	7.02	6.82	13.17	18.22	13.72	11.80
	2	2.97	3.05	16.49	7.54	2.65	3.85	10.98	5.26	1.77	4.07	7.07	4.09	4.02
	1	1.95	2.34	12.73	1.45	0.46	0.82	2.44	5.26	0.59	1.16	2.28	1.08	0.70
	無回答	1.79	1.71	0.35	0.48	0.40	0.75	0.00	73.61	0.96	0.99	0.92	0.88	1.06

全体集計1(1) アンケート回答数全体の平均

		全体	外国語	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
設問1~2, 5~10, 15~16の平均値	回答数	15,587	3,732	13,027	2,560	8,414	7,173
	平均値1	4.09	4.20	4.03	4.37	3.95	4.24
	標準偏差	0.4796	0.4401	0.4675	0.4180	0.4773	0.4163

全体集計1(2) 授業毎平均値の平均

		全体	外国語	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
設問1~2, 5~10, 15~16の平均値	授業数	729	289	455	274	327	402
	平均値2	4.17	4.23	4.04	4.39	3.97	4.34
	標準偏差	0.3754	0.3601	0.3644	0.2801	0.3677	0.2940

全体集計2

		職 (人)					授業の形態 (人)		必修・選択 (人)		アンケート 提出枚数 (枚)	
		教授	准教授	講師	助教	非常勤	講義	演習	必修	選択		
全体		278	261	21	55	114	455	274	327	402	15,587	
外国語		87	120	0	17	65	115	174	145	144	3,732	
所属 部 局	文学研究院	01	31	17	0	9	0	50	7	4	53	1,720
	教育学研究院	02	4	10	1	0	0	10	5	2	13	362
	法学研究科	03	9	0	0	6	0	10	5	2	13	276
	経済学研究院	04	6	8	0	5	0	13	6	3	16	277
	理学研究院	05	47	32	11	3	0	84	9	74	19	2,475
	医学研究院	06	3	2	0	9	0	3	11	0	14	358
	歯学研究院	07	3	2	0	0	0	3	2	0	5	122
	薬学研究院	08	2	4	3	0	0	5	4	4	5	253
	工学研究院	09	9	22	1	0	0	20	12	14	18	833
	農学研究院	10	5	5	1	0	0	6	5	5	6	191
	獣医学研究院	11	4	1	0	0	0	2	3	1	4	134
	水産科学研究院	12	4	1	0	0	0	4	1	0	5	258
	メディア・コミュニケーション研究院	13	89	111	0	6	0	101	105	116	90	2,651
	保健科学研究院	14	3	3	0	0	0	2	4	1	5	92
	情報科学研究院	15	7	6	0	0	0	8	5	5	8	470
	地球環境科学研究院	16	18	7	0	0	0	22	3	18	7	872
	先端生命科学研究院	17	3	1	0	1	0	3	2	2	3	127
	公共政策学連携研究部	18	2	1	0	0	0	1	2	0	3	16
	北海道大学病院	19										
	低温科学研究所	20	3	1	0	0	0	2	2	1	3	94
	電子科学研究所	21	5	2	0	1	0	7	1	5	3	241
	遺伝子病制御研究所	22	2	1	0	0	0	2	1	1	2	85
	触媒科学研究所	23	3	0	0	0	0	2	1	1	2	73
	スラブ・ユーラシア研究センター	24	1	1	0	0	0	1	1	0	2	24
	情報基盤センター	25	2	2	0	0	0	1	3	0	4	69
	アイソトープ総合センター	26										
	量子集積エレクトロニクス研究センター	27										
	総合博物館	28	1	2	0	0	0	2	1	1	2	34
	北方生物圏フィールド科学センター	29	3	2	0	0	0	1	4	0	5	36
	人獣共通感染症リサーチセンター	30	1	0	0	0	0	1	0	0	1	30
	大学図書館	31										
	観光学高等研究センター	32	0	1	0	0	0	1	0	0	1	41
	アイヌ・先住民研究センター	33	0	1	0	0	0	1	0	0	1	30
	社会科学実験研究センター	34										
	環境健康科学研究教育センター	35										
	北極域研究センター	36										
	サステイナビリティ学教育研究センター	37										
	保健センター	38	1	0	0	0	0	1	0	0	1	47
	理蔵文化財調査センター	39										
	人材育成本部	40	0	1	0	0	0	0	1	0	1	11
	創成研究機構	41										
	数理・データサイエンス教育研究センター	42	0	1	0	2	0	2	1	2	1	86
	高等教育推進機構	43	7	13	3	13	0	15	21	5	31	809
	安全衛生本部	44										
	産学・地域協働推進機構	45										
	国際連携研究教育局	46										
	学生相談総合センター	47	0	0	1	0	0	1	0	0	1	59
	総合IR室	48										
	その他	98										
非常勤講師 (全学教育科目)	99	0	0	0	0	114	68	46	60	54	2,331	

全体集計3

設問	平均	全体平均				外国語平均			
		講義	演習	必修	選択	講義	演習	必修	選択
1	4.25	4.22	4.41	4.17	4.35	4.23	4.40	4.24	4.42
2	4.28	4.25	4.39	4.21	4.35	4.23	4.37	4.24	4.38
3	4.14	4.11	4.30	4.03	4.26	4.07	4.29	4.06	4.38
4	4.11	4.07	4.31	3.92	4.33	4.19	4.31	4.18	4.36
5	3.97	3.91	4.28	3.81	4.17	4.06	4.27	4.06	4.32
6	4.12	4.05	4.44	3.92	4.34	4.10	4.42	4.13	4.44
7	4.12	4.08	4.37	3.99	4.28	4.21	4.32	4.19	4.39
8	3.85	3.74	4.40	3.71	4.02	4.10	4.41	4.13	4.42
9	4.15	4.09	4.45	4.05	4.26	4.19	4.43	4.20	4.47
10	4.10	4.06	4.29	4.01	4.20	4.10	4.26	4.12	4.27
15	3.89	3.83	4.21	3.70	4.12	3.80	4.14	3.81	4.21
16	4.12	4.06	4.44	3.95	4.32	4.07	4.40	4.08	4.46
平均	4.09	4.04	4.36	3.96	4.25	4.11	4.33	4.12	4.38
11	4.79	4.78	4.84	4.77	4.81	4.62	4.81	4.64	4.81
12	3.75	3.68	4.12	3.65	3.88	3.79	4.09	3.82	4.12
13	2.19	2.18	2.26	2.35	2.00	2.16	2.29	2.23	2.18
平均	3.58	3.54	3.75	3.59	3.56	3.52	3.73	3.56	3.70